

# 甲南大学学則

( 昭和 26 年 3 月 15 日 )  
認 可

改正 令和 7 年 3 月 28 日

## 第 1 章 総則

第 1 条 本大学は、教育基本法(平成 18 年法律第 120 号)及び学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に則り、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的とする。

## 第 2 章 組織

第 2 条 本大学は、学部及び大学院よりなる。

第 3 条 本大学に次の学部・学科を置く。

学部	学科
文学部	日本語日本文学科
	英語英米文学科
	社会学科
	人間科学科
	歴史文化学科
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科
	生物学科
	物質化学科
	環境・エネルギー工学科
経済学部	経済学科
法学部	法学科
経営学部	経営学科
知能情報学部	知能情報学科
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科
フロンティアサイエンス学部	生命化学科

2 本大学に大学設置基準(昭和 31 年文部省令第 28 号)に定める学部等連係課程実施基本組織として次の学環を置く。

学環
グローバル教養学環

第 3 条の 2 各学部・学科及び学環における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は次のとおりとする。

学部	学科	学環	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標
文学部			幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによつて、仕事を含む人生の様々な活動に発生する問題を主体的に解決できる人材を社会に送り出す。

	日本語日本文学科	古典・近現代文学・日本語学・日本語教育学等のバランスの取れた教育・研究を通して、社会での活動の基盤である日本語の理解力・表現力を鍛えることを目標とする。
	英語英米文学科	実践的語学教育と並行して英語学及び英米の文化・文学の教育を行い、英語圏文化の深い理解に裏打ちされた英語運用能力を持つ人材を育成し、国際化する社会の要請に応える。
	社会学科	情報化、国際化の進展によつて急速に変化し、多様性や不確実性が高まっている社会の中で必要とされる「自ら調査・分析・表現・発信する実証的・実践的な態度と能力」を涵養する。
	人間科学科	心理学、哲学、芸術学の知を関連づけながら、理論と実践の両面から「人間とは何か」を探究することにより、社会の諸問題を多角的に捉え、柔軟に問題解決できる人材育成を目指す。
	歴史文化学科	人類がこれまで蓄積してきた有形・無形の文化遺産及び歴史の中における生活の場としての環境と人類との交流について歴史学、地理学・民俗学の分野から探求し、これら各分野を横断する総合的立場から教育を行う。
理工学部		自然科学の強固な学問的土台を身につけて、純粋理学と応用科学を融合させることのできる能力を養い、時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して創造性を発揮できる人材の育成を目指す。
	宇宙理学・量子物理工学科	時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して、問題の解決に果敢に挑み、創造性を発揮し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的とし、物理学の基本的な知識及び論理的思考法・手法を講義と実験・実習科目による相補的な積み上げ方式によつて修得させ、卒業研究を通して総合的な問題解決能力を養う。
	生物学科	今日の社会が直面する生命や環境等に関わる諸問題を正しく理解し、それらの解決に貢献できる国際的視野を持った人材の養成を目的とし、そのために必要な現代生物学の専門知識と技術及びそれらを十分に活用するための思考力を修得させる。
	物質化学科	科学技術に携わる者に求められる責任感と倫理観を有し、化学の専門知識並びに自然科学に対する柔軟な思考力を身につけた人材の養成を目的とし、化学の基礎的な知識・豊富な経験に基づく課題設定能力・解決能力を得て、現代社会の要請に応えることのできる能力を獲得させる。
	環境・エネルギー工学科	現代社会が抱える種々の課題の中でも、環境・資源・エネルギーに係わる課題に取り組むうえで必要な化学・物理学・地学の基礎知識、ならびに環境・エネルギー工学に関する専門知識を身につけた人材の養成を目的とし、環境・エネルギー工学分野での課題設定能力・問題解決能力を修得して、実社会の養成に応えることのできる能力を獲得させる。
経済学部	経済学科	経済学の学習を通じて、変化の激しい経済社会で充実した活動ができる知性と創造力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済・社会問題を的確に捉える能力、筋道を立てて問題を考える能力、自らの力で解決策を示す能力を求める。
法学部	法学科	法曹・行政・経済をはじめ社会の様々な分野で指導的な役割を担うことができる人材を養成するため、学生の個性尊重を旨として、法及び政治に関する専門知識の修得と思考力の涵養を通じて、個々の学生の論理的な思考力と柔軟な応用力を培うことを教育目標とする。
経営学部	経営学科	ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織（企業）の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を有し、社会に資するビジネスパーソンの養成を目的とする。このために学生が修得すべき能力として、次の各能力を求める。

		<p>(1) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力</p> <p>(2) 各種スキルと論理的思考力に支えられた経営問題の発見・説明・解決力</p> <p>(3) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行力及び倫理的責任力</p> <p>(4) トータルな人間性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力</p>
知能情報学部	知能情報学科	人間力をベースに、感性・知性で高度国際情報社会におけるリーダーシップがとれる人材の育成を目指す。そのため、数学的基礎学力、知能情報学における専門知識、効果的な発表能力並びにコミュニケーション能力の修得を目標とする。
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	自ら学ぶ力を涵養し、営利、非営利、パブリックなどいずれの分野にあつても、社会的責任を創造的に果たしていくマネジメント能力を開発し、世界に貢献しうる人物育成を目指す。
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、社会の発展、福祉の増進のためとくに生命化学分野におけるフロンティア開発に資する人材を養成する。
グローバル教養学環		多様な文化と言語背景を持つ人々と関わり効果的に協働することを可能にする複数言語の運用能力、異文化間の価値観の異なりや多様性に起因する問題に対する異文化間調整能力、AI・データサイエンス、ICTの活用などを含めた文理横断的な知識と技能、課題解決のための企画立案・提案力を備え、グローバル社会又は地域社会の持続的発展に貢献することのできるグローバル人材の育成を目指す。

第4条 学部及び学環における学生の収容定員は、次のとおりとする。

学部及び学環	学 科	入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	70	280
	英語英米文学科	90	360
	社会学科	90	360
	人間科学科	95	380
	歴史文化学科	60	240
	計	405	1,620
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科	45	180
	生物学科	45	180
	物質化学科	45	180
	環境・エネルギー工学科	40	160
	計	175	700
経済学部	経済学科	335	1,340
	計	335	1,340
法学部	法学科	330	1,320
	計	330	1,320
経営学部	経営学科	335	1,340
	計	335	1,340
知能情報学部	知能情報学科	120	480
	計	120	480
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	170	680
	計	170	680

フロンティアサイエンス学部	生命化学科	45	180
	計	45	180
グローバル教養学環		25	100
合 計		1,940	7,760

第5条 大学院に関する規程は、別に定める

### 第3章 授業科目及び履修方法

第6条 本大学の授業科目を、基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目及び専門教育科目に分ける。

- 2 基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。
- 3 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(1)のとおりとする。
- 4 マネジメント創造学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(3)のとおりとする。
- 5 フロンティアサイエンス学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(4)のとおりとする。
- 6 グローバル教養学環における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(5)のとおりとする。
- 7 卒業に必要な単位数は、別表第2の(1)、別表第2の(3)、別表第2の(4)及び別表第2の(5)のとおりとする。

第6条の2 特定の分野又は課題に関する授業科目を体系的に編成する副専攻を置くことができる。

- 2 副専攻に関する規程については、別に定める。

第7条 本大学の修業年限は、4年とする。

第8条 中学校及び高等学校の教育職員免許状を得るために必要な教科及び教職に関する科目（教科に関する専門的事項の科目を除く。）の授業科目及び単位数は、別表第3のとおりとする。

第9条 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

- 2 本大学において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学 部	学 科	免許教科	免許状の種類
文学部	日本語日本文学科	国語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		英語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
	社会学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
	人間科学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
	歴史文化学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状

理工学部	宇宙理学・量子物理工学科 生物学科 物質化学科 環境・エネルギー工学科	理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
経済学部	経済学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
法学部	法学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
経営学部	経営学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
		商業	
知能情報学部	知能情報学科	数学	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		情報	高等学校教諭一種免許状

第 10 条 図書館司書又は学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、別表第 4 の (1) に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 10 条の 2 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、別表第 4 の (2) に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 10 条の 3 公認心理師の受験資格を得るために大学において必要な科目を修めようとする者は、別表第 4 の (3) に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 11 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 4 5 時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、1 5 時間から 3 0 時間までの範囲の授業をもつて 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、3 0 時間から 4 5 時間までの範囲の授業をもつて 1 単位とする。
- (3) 一つの授業科目のなかで、講義、演習、実験、実習又は実技のうち 2 以上の方法の併用により行う場合の授業科目については、その組み合わせに応じ、前 2 号に規定する基準を考慮して定める時間の授業をもつて 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業実験等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第 11 条の 2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本大学は、第 1 項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本大学は、第 1 項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

第 11 条の 3 学生に対して、授業の方法及び内容並びに 1 年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

## 第4章 試験及び学士の学位

第12条 学生は、学期の初めに履修を希望する授業科目を届け出て承認を得なければならない。

第12条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、60単位を限度として、本大学において修得した単位とみなすことができる。

3 第1項の規定に基づく外国留学（以下「留学」という。）に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第13条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。ただし、実験、実習、演習、体育の実技等は、平常の成績によることができる。

2 授業科目の成績の評価は、秀（AA）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の5種とし、その評点は、100点を満点として次のとおり定める。

秀（AA）	90点以上	}	合格
優（A）	80点以上90点未満		
良（B）	70点以上80点未満		
可（C）	60点以上70点未満		
不可（D）	60点未満		不合格

第14条 試験は、原則として学期末又は学年末に行う。

第15条 削除

第16条 4年以上在学して第6条に掲げられた所定の授業科目及び履修方法により卒業に必要な単位数を修得した者には、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

2 本大学に3年以上在学した学生が、別に定める規程に従い卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、第7条に規定する修業年限の特例扱いとして学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与することができる。

第16条の2 前条第1項の定めにかかわらず、卒業に必要な要件を満たした者が目標とする進路、資格等を獲得するために卒業を保留し、引き続き在学を希望した場合、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長は卒業の延期を許可することができる。

2 卒業の延期に関する事項については、別に定める。

第17条 本大学を卒業した者には、学部・学科及び学環に応じて、次のとおり学士の学位を授与する。

文学部	日本語日本文学科 英語英米文学科 社会学科 人間科学科 歴史文化学科	学士(文学) 学士(文学) 学士(社会学) 学士(文学) 学士(文学)
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科 生物学科 物質化学科 環境・エネルギー工学科	学士(理学)又は学士(理工学) 学士(理学) 学士(理工学) 学士(理工学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
法学部	法学科	学士(法学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)
知能情報学部	知能情報学科	学士(知能情報学)

マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	学士（マネジメント）
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	学士（理工学）
グローバル教養学環		学士（グローバル教養）

## 第5章 学年、学期及び休業日

第18条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第19条 学年は、前期・後期の2学期に分ける。

前 期           4月 1日～9月16日  
後 期           9月17日～3月31日

第20条 休業日を次のとおり定める。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 本学園創立記念日（4月21日）
- (4) 夏期休業日、冬期休業日は学年暦によるものとする。

- 2 学長は、学年暦編成上必要ある場合は、前項の休業日を授業日に変更することができる。
- 3 学長は、必要に応じ臨時に授業を休止又は変更することができる。

## 第6章 入学、転学部、留学、休学、除籍及び退学

第21条 入学の時期は、学年初めとする。

第22条 本大学の第1年次に入学する資格のある者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の卒業生
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

第23条 入学は、選考によつて学長が決定する。

第24条 選考によつて入学を決定された者は、所定の期日までに入学に必要な手続をしなければならない。

第25条 本大学への編入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。  
2 編入学についての細則は、別に定める。

第26条 本大学を卒業し、さらに本大学の他の学部・学科及び学環に学士入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。  
2 学士入学についての細則は、別に定める。

第27条 他の学部へ転学部を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 転学部についての細則は、別に定める。

第27条の2 第12条の2の規定に基づく留学を希望する者は、願い出て学長の許可を受けなければならない

ない。

2 前項により留学をした期間は、第 16 条及び第 29 条に規定する在学期間に算入する。

第 28 条 疾病その他やむを得ない理由により休学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

2 疾病のため修学に適さないと認められる者については、学長が休学を命ずることがある。

3 海外渡航の期間が 6 箇月以上にわたるときは、休学しなければならない。

4 休学の期間は、継続して 2 年を、通算して 4 年を超えることができない。

5 休学期間中に復学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

6 休学の期間は、第 16 条及び次条に規定する在学期間に算入しない。

第 29 条 本大学に在学する期間は、8 年を超えることができない。

2 在学期間が 8 年を超える場合は、除籍する。

第 30 条 学費を納付しない者は、除籍する。ただし、1 年以内に復籍を願い出たとき、又は 1 年経過後再入学を願い出たときは、審議の上、学長は、これを許可することができる。

第 30 条の 2 死亡又は行方不明となつた者は、除籍する。

第 31 条 疾病その他やむを得ない理由によつて退学しようとするときは、学長の許可を受けなければならない。

第 32 条 前条により退学した者が再入学を願い出たときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

第 33 条 他の大学へ入学又は転学を願い出ようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

## 第 7 章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び高大連携聴講生

第 34 条 特定の授業科目について履修を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、科目等履修生として許可することができる。

2 科目等履修生規程については、別に定める。

第 34 条の 2 本大学専任教員の指導を受け、特定の事項について研究をしようとする者があるときは、選考の上、学長は、研究生として許可することができる。

2 研究生規程については、別に定める。

第 34 条の 3 特定の授業科目について聴講を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、聴講生として許可することができる。

2 聴講生規程については別に定める。

第 34 条の 4 他の大学との協議に基づき、本大学の授業科目を履修させる場合には、選考の上、学長は、特別聴講生として許可することができる。

第 34 条の 5 甲南高等学校との協議及び教育委員会又は高等学校との協定に基づき、当該高校生が本大学が指定する授業科目の聴講を願い出る場合は、選考の上、学長は、高大連携聴講生として許可することができる。

2 高大連携聴講生については、別に定める。

## 第 7 章の 2 特別の課程

第 34 条の 6 学校教育法に規定する本大学の学生以外の者を対象とした特別の課程として、履修証明プログラムを編成することができる。

2 履修証明プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

### 第7章の3 外国人留学生

第34条の7 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定める留学という在留資格の取得を必要とする者が、本大学に入学しようとする場合は、選考の上、学長は、外国人留学生として、これを許可することができる。

2 外国人留学生の受入れについては、別に定める。

### 第8章 賞罰

第35条 学業、人物、文化芸術、運動等の分野において優秀な者は表彰する。

第36条 学生に本大学の規則に違反し、又は学生の本分にもとる行為があると認めるときは、合同教授会の審議を経て、学長が懲戒を決定する。

2 学生の懲戒に関する規程は、別に定める。

第37条 懲戒処分は、訓告、停学及び退学とする。退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

### 第9章 入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料、入学金、授業料、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、学修在籍料、科目等履修料、研究生登録料及び聴講料

第38条 本大学に入学を願い出る者は、別表第5に定める入学受験料を納付しなければならない。

2 本大学に科目等履修生を願い出る者は、別表第5に定める科目等履修生検定料を納付しなければならない。

3 研究生を願い出る者は、別表第5に定める研究生申請料を納付しなければならない。

4 聴講生を願い出る者は、別表第5に定める聴講生検定料を納付しなければならない。

第39条 本大学に入学を許可された者は、別表第6に定める入学金を納付しなければならない。

第40条 学生は、別表第7の(1)に定める授業料を納付しなければならない。実験又は実習を要する授業科目を履修する者は、別表第7の(2)に定める実験費又は別表第7の(3)に定める実習費を納付しなければならない。

2 文学部人間科学科1年次学生は、別表第7の(1)に定める研究資料費を納付しなければならない。

3 休学中の者は、別表第7の(4)に定める在籍料を納付しなければならない。

4 第30条により復籍を許可された者は、復籍料を納付しなければならない。

5 第16条の2により卒業の延期を許可された者は、別表第7の(6)に定める学修在籍料を納付しなければならない。

第41条 科目等履修生は、別表第7の(5)に定める科目等履修料を納付しなければならない。

第41条の2 研究生は、別表第7の(5)に定める研究生登録料を納付しなければならない。

第41条の3 聴講生は、別表第7の(5)に定める聴講料を納付しなければならない。

第42条 入学金、授業料、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、学修在籍料、科目等履修料、研究生登録料、聴講料、履修証明プログラム履修料等の学費及び入学受験料、科目等履修生検定料、研

研究生申請料、聴講生検定料の徴収については、別に定める。

第 43 条 既納の学費、入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料及び聴講生検定料は、返還しない。  
2 入学許可を得た者で、指定の期日までに入学手続きの取消しを願い出たものについては、前項にかかわらず、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

## 第 10 章 図書館

第 44 条 本大学に図書館を置く。  
2 図書館に関する規程は、別に定める。

第 44 条の 2 削除  
2 削除

## 第 11 章 研究所

第 45 条 本大学に総合研究所を置く。  
2 総合研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 2 削除

第 45 条の 3 削除

第 45 条の 4 本大学に人間科学研究所を置く。  
2 人間科学研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 5 本大学に先端生命工学研究所を置く。  
2 先端生命工学研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 6 本大学にフロンティア研究推進機構を置く。  
2 フロンティア研究推進機構に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 7 削除

第 45 条の 8 本大学にビジネス・イノベーション研究所を置く。  
2 ビジネス・イノベーション研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 9 削除

第 45 条の 10 削除

## 第 12 章 全学教育推進機構

第 46 条 本大学に全学教育推進機構を置く。  
2 全学教育推進機構に関する規程は、別に定める。

第 46 条の 2 全学教育推進機構の下に、全学共通教育センターを置く。  
2 全学共通教育センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 3 全学教育推進機構の下に、スポーツ・健康科学教育研究センターを置く。  
2 スポーツ・健康科学教育研究センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 4 全学教育推進機構の下に、教育学習支援センターを置く。  
2 教育学習支援センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 5 全学教育推進機構の下に、国際言語文化センターを置く。  
2 国際言語文化センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 6 全学教育推進機構の下に、グローバル教養学環を置く。  
2 グローバル教養学環に関する規程は、別に定める。

### 第 13 章 削除

第 47 条 削除

#### 第 13 章の 2 削除

第 47 条の 2 削除

#### 第 13 章の 3 学生支援機構

第 47 条の 3 本大学に学生支援機構を置く。  
2 学生支援機構に関する規程は、別に定める。

第 47 条の 4 学生支援機構の下に、学生生活支援センターを置く。  
2 学生生活支援センターに関する規程は、別に定める。

第 47 条の 5 学生支援機構の下に、学生相談センターを置く。  
2 学生相談センターに関する規程は、別に定める。

### 第 14 章 削除

第 48 条 削除

#### 第 14 章の 2 削除

第 48 条の 2 削除

#### 第 14 章の 3 国際交流センター

第 48 条の 3 本大学に国際交流センターを置く。  
2 国際交流センターに関する規程は、別に定める。

#### 第 14 章の 4 教職教育センター

第 48 条の 4 本大学に教職教育センターを置く。  
2 教職教育センターに関する規程は、別に定める。

#### 第 14 章の 5 社会連携機構

第 48 条の 5 本大学に社会連携機構を置く。  
2 社会連携機構に関する規程は、別に定める。

第 48 条の 6 社会連携機構の下に、地域連携センターを置く。  
2 地域連携センターに関する規程は、別に定める。

第 48 条の 7 社会連携機構の下に、リカレント教育センターを置く。

2 リカレント教育センターに関する規程は、別に定める。

#### 第 1 4 章の 6 公認心理師養成センター

第 48 条の 8 本学に公認心理師養成センターを置く。

2 公認心理師養成センターに関する規程は、別に定める。

#### 第 1 5 章 教職員組織

第 49 条 本大学に学長、教授、准教授、講師、助教及びその他の職員を置く。

2 職制に関する規程は、別に定める。

#### 第 1 6 章 教授会

第 50 条 本大学に合同教授会、学部教授会、全学共通教育センター教員会議及び学環会議（以下、「教授会等」という。）を置く。

2 教授会等は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、これを審議し、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会等の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会等は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会等が置かれる組織の長（以下、この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

第 51 条 削除

第 52 条 削除

第 53 条 合同教授会に関する規程は、別に定める。

第 54 条 削除

第 55 条 削除

第 55 条の 2 削除

第 55 条の 3 削除

第 56 条 各学部の教授会及び全学共通教育センターの教員会議に関する規程は、別に定める。

2 前項に定める教授会等の下に、各種委員会を設置することができる。

#### 第 1 7 章 削除

第 57 条 削除

第 58 条 削除

第 59 条 削除

第 60 条 削除

#### 第 1 7 章の 2 削除

第 60 条の 2 削除

第 60 条の 3 削除

第 60 条の 4 削除

第 60 条の 5 削除

#### 第 18 章 大学会議

第 61 条 本大学に大学会議を置く。

第 62 条 削除

第 63 条 削除

第 64 条 大学会議に関する規程は、別に定める。

#### 第 19 章 自己点検・評価、認証評価、情報公開等

第 65 条 本大学は、教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価に関する規程は、別に定める。

3 本大学は、第 1 項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

第 66 条 本大学は、本大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第 67 条 本大学は、本大学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によつて、積極的に情報を提供するものとする。

#### 附 則

この学則は、昭和 26 年 4 月 1 日から施行する。

#### 附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

#### 附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

#### 附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

#### 附 則

この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

#### 附 則

1 この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 4 条のグローバル教養学環入学定員及び収容定員は、法学部法学科及びマネジメント創造学部マネジメント創造学科の入学定員及び収容定員の内数とし、グローバル教養学環の入学定員及び収容定員に係る各学科の内数は、次のとおりとする。

学部及び学環	学科	入学定員	収容定員
法学部	法学科	345 (15)	1,380 (60)
	計	345 (15)	1,380 (60)
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	180 (10)	720 (40)
	計	180 (10)	720 (40)

※ ( ) は、グローバル教養学環の入学定員及び収容定員に係る各学科の内数を示す。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和8年4月1日から施行する。

別表第1

ア 基礎共通科目

授業科目	単位数	備考	授業科目	単位数	備考
人文科学系			社会科学系		
A群リベラルアーツ	哲学	2	A群リベラルアーツ	社会学	2
	倫理	2		社会学	2
	心理	2		社会学	2
	歴史	2		社会学	2
	文学	2		政治学	2
	哲学プラクティクス	2		地理学	2
	女性学	2		国際関係論	2
現代の芸術	2				
宗教	2				
B群人間を学ぶ	生態人類学	2	B群経済を学ぶ	産業界と経済	2
	環境と文化	2		企業と情報	2
	芸術と社会学	2		歴史と経済	2
	生命と倫理	2		現代社会と企業	2
	人権(同和)の問題	2		世界と経済	2
	感情・人格心理学	2		暮らしと経済	2
	DE&I入門	2		福祉と経済	2
		社会とファイナンス	2		
		SDGsとISO国際標準	2		
C群文化を学ぶ	ことばと社会学	2	C群社会を学ぶ	現代社会学論	2
	コミュニケーション論	2		現代都市論	2
	イメージと文化	2		公共哲学	2
	日本語の諸相	2		環境人間学	2
	比較文化論	2		社会福祉論	2
	芸術学基礎論	2		家族関係論	2
	現代思想	2		歴史と社会学	2
	近現代の文学	2		ボランティア論	2
	日本研究	2		グローバル化と文化	2
越境する文化と文学	2	地域連携入門	2		
伝統文化を学ぶ	2	地域とメディア	2		
D群歴史を学ぶ	社会思想史	2	D群法と政治を学ぶ	日本国憲法	2
	歴史と文化	2		社会生活と法	2
	文学と歴史	2		現代政治論	2
	地域と文化	2		法と情報	2
	芸術史	2		環境法	2
	歴史とメディア	2		家族関係と法	2
	国際化の歴史	2		少子高齢社会と法	2
	生活の歴史	2		財産と法	2
		消費者問題	2		
		市場と法	2		
		組織と法	2		
		まちづくりと行政	2		
		地域創生	2		

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
自然科学系			学際融合系		
A群 リベラルアーツ	数 学	2	ケ ア の 論 理	2	
	物 理	2	ラ イ フ プ ラ ン 教 育	2	
	化 学	2	癒 し の 諸 相	2	
	生 物	2	自 己 の 探 求	2	
	地 生 命 化	2	心 の 健 康 科 学	2	
B群 自然の歴史を学ぶ	生 命 化	2	保 健 衛 生	2	
	地 球 の 歴 史	2	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病	2	
	生 物 の 歴 史	2	環 境 教 育 の 実 践	2	
	自 然 と 人 間	2	食 品 科 学	2	
	自 然 科 学 史	2	フ ロ ン ト ラ ン ナ ー 講 座	2	
	技 術 の 歴 史	2	情 報 社 会 の セ キ ュ リ テ ィ	2	
	環 境 と 地 理	2	社 会 を 読 み 解 く (クリティカルシンキング)	2	
C群 現代科学を学ぶ	現 代 生 活 と 物 理 学	2	文 章 表 現 論	2	
	現 代 生 活 と 生 物 学	2	国際言語文化系		
	現 代 生 活 と 数 理 科 学	2	ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 を 学 ぶ	2	
	現 代 生 活 と 最 先 端 科 学	2	ア ジ ア の 文 化 を 学 ぶ	2	
	核 と 環 境	2	ヨ ー ロ ッ パ の 言 語 と 社 会	2	
	環 境 の 化 学	2	ア ジ ア の 言 語 と 社 会	2	
	大 気 と 海 洋	2	国 際 理 解	2	
	国 際 化 と 情 報 ネットワーク	2	国 際 理 解 E n g l i s h	2	
	国 際 社 会 に お け る 最 先 端 科 学	2	日 本 理 解	2	
	現 代 生 活 と 生 命 化 学	2	J a p a n T o p i c s	2	
	Science in the world Today	2	C u l t u r e T o p i c s I	2	
	Science, Technology and SDGs	2	C u l t u r e T o p i c s II	2	
Science News	2	E n g l i s h f o r S c i e n c e	2		
D群 情報を学ぶ	知 能 情 報	2	S c i e n c e W r i t i n g	2	
	生 体 情 報	2	スポーツ健康系		
	感 性 情 報	2	ス ポ ー ツ 心 理 学	2	
	生 命 情 報	2	ス ポ ー ツ 運 動 学	2	
	認 知 科 学	2	ス ポ ー ツ 文 化 論	2	
			ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	
			生 涯 ス ポ ー ツ 論	2	
			ス ポ ー ツ 社 会 学	2	
			ス ポ ー ツ 医 学	2	
			運 動 生 理 学	2	
			健 康 と 生 命 科 学	2	
			ス ポ ー ツ コ ー チ ン グ 論	2	
			ト レ ー ニ ン グ 論	2	
			基 礎 ス ポ ー ツ 健 康 科 学	2	
			導入共通科目		
			甲 南 大 学 と 平 生 鈞 三 郎	2	
			共 通 基 礎 演 習	2	
			I T 基 礎	2	
			AI・データサイエンス入門	2	

## 履修方法

- 1 文学部、経済学部、法学部及び経営学部の学生は、次に定めるとおり18単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ4単位以上
  - (2) 学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目の中から、2単位以上
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「IT基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位以上
- 2 国際言語文化副専攻に登録した文学部、経済学部、法学部及び経営学部の学生は、上記の第1項にかかわらず、基礎共通科目及び第2号に定める外国語科目から次に定めるとおり18単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位以上
  - (2) 国際言語文化系の授業科目、外国語科目「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ」「中級ドイツ語Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ」「中級フランス語Ⅱ」「中級中国語Ⅰ」「中級中国語Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ」「中級韓国語Ⅱ」の中から、8単位
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「IT基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位以上
- 3 スポーツ健康副専攻に登録した文学部、経済学部、法学部及び経営学部の学生は、上記の第1項にかかわらず、基礎共通科目から次に定めるとおり18単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位以上
  - (2) スポーツ健康系の授業科目の中から、8単位
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「IT基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位以上
- 4 理工学部及び知能情報学部の学生は、次に定めるとおり16単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ4単位
  - (2) 学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目の中から、2単位
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位
- 5 国際言語文化副専攻に登録した理工学部及び知能情報学部の学生は、上記の第4項にかかわらず、次に定めるとおり16単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位
  - (2) 国際言語文化系の授業科目の中から、8単位
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位
- 6 スポーツ健康副専攻に登録した理工学部及び知能情報学部の学生は、上記の第4項にかかわらず、次に定めるとおり16単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位
  - (2) スポーツ健康系の授業科目の中から、8単位
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位
- 7 フロンティアサイエンス学部の学生は、次に定める授業科目の中から10単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、学際融合系（「フロントランナー講座」を除く。）、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目
  - (2) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」
- 8 マネジメント創造学部の学生は、次に定める授業科目の中から8単位を修得しなければならない。
  - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系、学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目
  - (2) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」

- 9 グローバル教養学環の学生は、次に定める授業科目の中から 18 単位を修得しなければならない。
- (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 4 単位以上
  - (2) 学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目の中から、2 単位以上
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈆三郎」「共通基礎演習」「IT 基礎」の中から、2 単位以上
- 10 スポーツ健康副専攻に登録したグローバル教養学環の学生は、上記の第 9 項にかかわらず、基礎共通科目から次に定めるとおり 18 単位を修得しなければならない。
- (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 2 単位以上
  - (2) スポーツ健康系の授業科目の中から、8 単位
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈆三郎」「共通基礎演習」「IT 基礎」の中から、2 単位以上
- 11 文学部、経済学部、法学部及び経営学部の外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生は、上記第 1 項にかかわらず、次に定めるとおり 18 単位を修得しなければならない。
- (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 2 単位以上
  - (2) 学際融合系、スポーツ健康系、国際言語文化系の授業科目の中から、2 単位以上
  - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈆三郎」「共通基礎演習」「IT 基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2 単位以上
  - (4) 外国語科目「大学日本語中級Ⅰ」「大学日本語中級Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ」「大学日本語上級Ⅱ」の中から、4 単位以上

イ 外国語科目

授 業 科 目				単位数	備 考	授 業 科 目				単位数	備 考
基礎 外国語	英語	Skill - based	College English Reading	1		英語	Test Preparation	上級英語 TOEIC		4	
			College English Writing	1				Content - based	上級英語 Global Topics I	2	
			College English Listening	1					上級英語 Global Topics II	2	
			College English Speaking	1					上級英語 Life Topics I	2	
		Content/Project-based	College English Topics I	1			上級英語 Life Topics II		2		
			College English Topics II	1			上級英語 Career English I		2		
			College English Project I	1			上級英語 Career English II		2		
			College English Project II	1							
	ドイツ語	基礎 ドイツ語Ⅰ		2		上級 外国語	ドイツ語		上級 ドイツ語Ⅰ		
		基礎 ドイツ語Ⅱ		2				上級 ドイツ語Ⅱ		4	
	フランス語	基礎 フランス語Ⅰ		2			フランス語	上級 フランス語Ⅰ		4	
		基礎 フランス語Ⅱ		2				上級 フランス語Ⅱ		4	
	中国語	基礎 中国語Ⅰ		2			中国語	上級 中国語Ⅰ		4	
		基礎 中国語Ⅱ		2				上級 中国語Ⅱ		4	
韓国語	基礎 韓国語Ⅰ		2	韓国語	上級 韓国語Ⅰ		4				
	基礎 韓国語Ⅱ		2		上級 韓国語Ⅱ		4				
日本語	大学日本語入門Ⅰ		2								
	大学日本語入門Ⅱ		2								



### 履修方法

- 1 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部、知能情報学部及びグローバル教養学環の学生は、次に定めるとおり8単位を修得しなければならない。
  - (1) 基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
  - (2) 基礎外国語のうち、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語について1外国語4単位を修得しなければならない。
  - (3) 上記(2)にかかわらず、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位及び日本語4単位を修得しなければならない。
- 2 理工学部及び知能情報学部の学生は、次に定めるとおり8単位を修得しなければならない。
  - (1) 基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
  - (2) 基礎外国語のうち、英語 (Content/Project-based)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語について1外国語4単位を修得しなければならない。
  - (3) 上記(2)にかかわらず、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位及び日本語4単位を修得しなければならない。
- 3 フロンティアサイエンス学部の学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
- 4 外国語科目のうち、日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

### ウ 保健体育科目

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
スポーツ健康マネジメント演習Ⅰ	1		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツⅠ	1	
スポーツ健康マネジメント演習Ⅱ	1		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツⅡ	1	
生涯スポーツ・バドミントンⅠ	1		生涯スポーツ・ジョギングⅠ	1	
生涯スポーツ・バドミントンⅡ	1		生涯スポーツ・トレーニング実習Ⅰ	1	
生涯スポーツ・硬式テニスⅠ	1		生涯スポーツ・トレーナー実習Ⅰ	1	
生涯スポーツ・硬式テニスⅡ	1		生涯スポーツ・フィットネス実習Ⅰ	1	
生涯スポーツ・卓球Ⅰ	1		生涯スポーツ・スノースポーツⅠ	1	
生涯スポーツ・エアロビクスⅠ	1		生涯スポーツ・スノースポーツⅡ	1	
生涯スポーツ・ゴルフⅠ	1		履修方法 「スポーツ健康マネジメント演習Ⅰ」及び「スポーツ健康マネジメント演習Ⅱ」2単位を修得しなければならない。		
生涯スポーツ・ゴルフⅡ	1				
生涯スポーツ・健康柔道Ⅰ	1				
生涯スポーツ・健康柔道Ⅱ	1				
生涯スポーツ・バスケットボールⅠ	1				
生涯スポーツ・バスケットボールⅡ	1				
生涯スポーツ・バレーボールⅠ	1				
生涯スポーツ・バレーボールⅡ	1				
生涯スポーツ・フットサルⅠ	1				
生涯スポーツ・フットサルⅡ	1				

### エ キャリア創生共通科目

授 業 科 目	単位数	備 考
演習	共通応用演習Ⅰ	2
	共通応用演習Ⅱ	2
	文理融合総合研究	8

キャリアデザイン系	ベーシック・キャリアデザイン	2	
	キャリア実習	2	
	キャリアゼミ	2	
	プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2	
	プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2	
	アドバンスト・キャリアデザイン	2	
ビジネス系	入門 マネジメント	2	
	実践 マネジメント	2	
	入門 パーソナルファイナンス	2	
	応用 パーソナルファイナンス	2	
	入門 ビジネス会計	2	
	実践 ビジネス会計	2	
	入門 商業簿記Ⅰ	2	
	入門 商業簿記Ⅱ	2	
	中級 簿記	4	
	工業簿記	4	
	上級 簿記Ⅰ	2	
	上級 簿記Ⅱ	2	
	上級 財務諸表論Ⅰ	2	
	上級 財務諸表論Ⅱ	2	
	上級 工業簿記	2	
	上級 原価計算	2	
起業・アントレプレナーシップを学ぶ	2		
政策・法務系	ビジネスを支える法の世界	2	
	入門 ビジネス法務	2	
	実践 ビジネス法務	2	
	入門 民法 財産法編Ⅰ	2	
	入門 民法 財産法編Ⅱ	2	
	実践 民法Ⅰ	2	
	実践 民法Ⅱ	2	
	実践 民法Ⅲ	2	
	実践 民法Ⅳ	2	
	実践 民法Ⅴ	2	
	実践 民法Ⅵ	2	
	入門 商法 会社法編	2	
	証券市場と法	2	
	金融取引と法	2	
	証券業と法	2	
	公共政策論Ⅰ	2	
公共政策論Ⅱ	2		
知的財産とイノベーションⅠ	2		
知的財産とイノベーションⅡ	2		
情報系	IT 応用	2	
	情報通信テクノロジーⅠ	2	
	情報通信テクノロジーⅡ	2	
	ICT セキュリティ	2	
	基本情報技術	2	
	統計基礎	2	
	データサイエンス基礎	2	
	統計活用情報分析Ⅰ	2	
	統計活用情報分析Ⅱ	2	

国際系	グローバル・コミュニケーション I	4	
	グローバル・コミュニケーション II	4	
	エリアスタディーズ I	2	
	エリアスタディーズ II	2	
	エリアスタディーズ III	2	
	エリアスタディーズ IV	2	
	エリアスタディーズ V	2	
	エリアスタディーズ VI	2	
	エリアスタディーズ VII	2	
	エリアスタディーズ VIII	2	
	エリアスタディーズ IX	2	
	エリアスタディーズ X	2	
	世界の 中の 日本 I	2	
	世界の 中の 日本 II	2	
	海外 ボランティア I	4	
海外 ボランティア II	2		
海外 キャリア 実習	4		
ボランティア・地域連携系	実践 ボランティア I	1	
	実践 ボランティア II	1	
	地域 ファシリテイト	2	
	地域 プロジェクト I	2	
	地域 プロジェクト II	2	
福祉・スポーツ健康科学系	応用 スポーツ健康科学	2	
	障害者・障害児心理学	2	
	福祉心理学	2	

オ 副専攻科目

授業科目	単位数	備考
副専攻外国留学科目 I	2	
副専攻外国留学科目 II	2	
副 専 攻 演 習	2	

カ 単位互換科目

- (1) 甲南女子大学との単位互換協定に関する科目 (1科目2又は4単位)
- (2) 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換協定に関する科目 (1科目1から4単位)

キ 削除

ク 日本語特設科目

授 業 科 目	単位数	備考
日 本 語 I	10	
日 本 語 II	10	
日 本 語 III	10	
日 本 語 IV	10	
日 本 語 V	10	
<b>履修方法</b> Year-in-Japanプログラム参加留学生用		
中 級 日 本 語 I	2	
中 級 日 本 語 II	2	

上級日本語	2	
日本の文化Ⅰ	2	
日本の文化Ⅱ	2	
履修方法 一般交換留学生用		

ケ 国際交流科目

授業科目		単位数	備考
ジャパNSTAディーズ	ジャパNSTAディーズ 1	3	
	ジャパNSTAディーズ 2	3	
	ジャパNSTAディーズ 3	3	
	ジャパNSTAディーズ 4	3	
	ジャパNSTAディーズ 5	3	
	ジャパNSTAディーズ 6	3	
	ジャパNSTAディーズ 7	3	
	ジャパNSTAディーズ 8	3	
	ジャパNSTAディーズ 9	3	
	ジャパNSTAディーズ 10	3	
	ジャパNSTAディーズ 11	3	
	ジャパNSTAディーズ 12	3	
	ジャパNSTAディーズ 13	2	
	ジャパNSTAディーズ 14	2	
履修方法 甲南大学外国人留学生、本学学生共に履修可能			

別表第2の(1)

文学部

日本語日本文学科

授業科目			単位数	備考	授業科目			単位数	備考	
必修科目	日本文学概論 I		2	30 単位必修	日本語分野	言語学概論 I		2	4 単位以上 選択必修	
	日本文学概論 II		2			言語学概論 II		2		
	日本語学概論 I		2			日本語音声学 I		2		
	日本語学概論 II		2			日本語音声学 II		2		
	基礎演習 I		2			日本語語彙論 I		2		
	基礎演習 II		2			日本語語彙論 II		2		
	演習 I a		2			現代日本語研究 I		2		
	演習 I b		2			現代日本語研究 II		2		
	演習 II a		2			日本語学特殊講義 I		2		
	演習 II b		2							
卒業演習		8								
基礎科目	日本語表現法 I		2	16 単位以上 選択必修	発展科目	マスコミ言語研究 I		2	4 単位以上 選択必修	
	日本語表現法 II		2			マスコミ言語研究 II		2		
	日本文学史 I a		2			日本語教育概論 I		2		
	日本文学史 I b		2			日本語教育概論 II		2		
	日本文学史 II a		2			社会言語学 I		2		
	日本文学史 II b		2			社会言語学 II		2		
	漢文学 I a		2			対照言語学 I		2		
	漢文学 I b		2			対照言語学 II		2		
	漢文学 II a		2			日本語学特殊講義 II		2		
	漢文学 II b		2			日本語教育研究 I		2		
日本語史 I		2	日本語教育研究 II		2					
日本語史 II		2	日本事情		2					
日本語文法論 I		2	日本語教授法研究 I		2					
日本語文法論 II		2	日本語教授法研究 II		2					
発展科目	日本文学分野	古典文学	上代文学講読 I		2	共通分野	文学と表現 I		2	4 単位以上 選択必修
			上代文学講読 II		2		文学と表現 II		2	
			中古文学講読 I		2		日本文学特殊講義 I		2	
			中古文学講読 II		2		日本文学特殊講義 II		2	
			中世文学講読 I		2		比較文学特殊講義		2	
	中世文学講読 II		2	ことばの研究			2			
	近世文学講読 I		2	こどもの文学とことば			2			
	近世文学講読 II		2	関西のことばと文学			2			
	上代文学研究		2	日本の舞台芸術			2			
	中古文学研究		2	映像表現研究			2			
中世文学研究		2	マンガ・アニメ史		2					
近世文学研究		2	融合フォーラム (ジェンダー)		2					
近現代文学		近代文学講読 I		2	演習 III a		2			
		近代文学講読 II		2	演習 III b		2			
		近代文学講読 III		2	演書		2			
		近代文学講読 IV		2						
		現代文学講読 I		2						
		現代文学講読 II		2						
		現代文学講読 III		2						
		現代文学講読 IV		2						
		近代文学研究		2						
現代文学研究		2								

授	業	科	目	単位数	備考	授	業	科	目	単位数	備考	
関連科目	横断演習	I		2		関連科目	民俗学の諸問題	II		2		
	横断演習	II		2			地理学・民俗学資料研究	I		2		
	英語圏文化	I		2			地理学・民俗学資料研究	II		2		
	英語圏文化	II		2			古文書学	I		2		
	英語の獲得と理解			2			古文書学	II		2		
	社会心理学			2			IT応用			2		
	文化人類学			2			阪神文化論			2		
	多文化共生論			2								
	地域社会論			2								
	情報社会論			2								
	コミュニケーション研究			2								
	メディア研究			2								
	現代文化論			2								
	文学思想史			2								
	発達心理学			2								
	民俗学の諸問題	I		2								

### 卒業必要単位数

1 文学部日本語日本文学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語I・II」「中級フランス語I・II」「中級中国語I・II」「中級韓国語I・II」及び「大学日本語中級I・II」「大学日本語上級I・II」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて16単位以内

英語英米文学科

授	業	科	目	単位数	備 考	授	業	科	目	単位数	備 考	
必修	英米文化・文学入門			4	30 単位必修	リーディング・ライティング・スピーキング	D群 (リーディング)	講 読 演 習 I a	1	2 単位 以上 選択 必修	12 単位 以上 選択 必修	
	英 語 学 入 門			4				講 読 演 習 I b	1			
	基 礎 演 習 I a			1				講 読 演 習 II a	1			
	基 礎 演 習 I b			1				講 読 演 習 II b	1			
	基 礎 演 習 II a			1				講 読 演 習 III a	1			
	基 礎 演 習 II b			1				講 読 演 習 III b	1			
	Qualifying Test			2			E群 (ライティング)	英 作 文 I a	1	2 単位 以上 選択 必修		
	セ ミ ナ ー I a			2				英 作 文 I b	1			
	セ ミ ナ ー I b			2				英 作 文 II a	1			
	セ ミ ナ ー II a			2				英 作 文 II b	1			
	セ ミ ナ ー II b			2				英 作 文 III a	1			
	卒 業 研 究			8				英 作 文 III b	1			
文化・文学・英語学	A群 (英・米・英語圏文化)	英米文化探訪 I		2	4 単位 以上 選択 必修	英語英米文学科専門その他	F群 (スピーキング)	イングリッシュ・フォーラム Ia	1	2 単位 以上 選択 必修		
		英米文化探訪 II		2				イングリッシュ・フォーラム Ib	1			
		ブリティッシュ・スタディーズ I		2				イングリッシュ・フォーラム IIa	1			
		ブリティッシュ・スタディーズ II		2				イングリッシュ・フォーラム IIb	1			
		アメリカン・スタディーズ I		2				イングリッシュ・フォーラム IIIa	1			
		アメリカン・スタディーズ II		2				イングリッシュ・フォーラム IIIb	1			
		英米文化研究 I		2				G群 (英語力強化)	ボキャブラリー・ビルディング I		2	14 単位 以上 選択 必修
		英米文化研究 II		2					ボキャブラリー・ビルディング II		2	
		英語圏文化 I		2					ワークショップ I a		2	
	英語圏文化 II		2	ワークショップ I b	2							
	西洋史概説 I		2	ワークショップ II a	2							
	西洋史概説 II		2	ワークショップ II b	2							
	西洋史特論 II		2	ワークショップ III a	2							
				ワークショップ III b	2							
				時事英語 I	2							
	B群 (英・米・英語圏文学)	文学探訪 a		2	4 単位 以上 選択 必修		時事英語 II	2				
		文学探訪 b		2			C A L L I	2				
		イギリス文学思潮史 I		2			C A L L II	2				
イギリス文学思潮史 II			2	ビジネス・イングリッシュ I		1						
アメリカ文学思潮史 I			2	ビジネス・イングリッシュ II		1						
アメリカ文学思潮史 II			2	翻訳セミナー I		2						
英米文学研究 I			2	翻訳セミナー II		2						
英米文学研究 II			2	H群 (留学関連)		Japan in English I	2					
英語圏文学 I			2			Japan in English II	2					
英語圏文学 II		2	留学特別講座 I		4							
比較文学特殊講義		2	留学特別講座 II		4							
文学思想史		2	留学特別講座 III		4							
C群 (英語学)	英語の文法		2		4 単位 以上 選択 必修	English Studies I	2					
	英語の音声		2			English Studies II	2					
	英語の意味		2			English Studies III	2					
	英語の歴史		2			English Studies IV	2					
	英語のレキシコン		2	English Studies V		2						
	英語の獲得と理解		2	English Studies VI		2						
	英語学講座 I		2	English Studies VII		2						
	英語学講座 II		2	English Studies VIII		2						
	英語学講座 III		2									
	英語学講座 IV		2									
	英語学研究 I		2									
	英語学研究 II		2									

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
関連科目	西洋美術史	2	関連科目	芸術表象論	2
	歴史と思想	2		多文化共生論	2
	比較文化論	2		学習・言語心理学	2
	西洋史研究Ⅰ	2		心理学統計法	2
	西洋史研究Ⅱ	2		日本語文法論Ⅰ	2
	哲学入門	2		日本語文法論Ⅱ	2
	マンガ・アニメ史	2		日本語音声学Ⅰ	2
	融合フォーラム(ファンタジー)	2		日本語音声学Ⅱ	2
	融合フォーラム(文化と自然)	2		自然言語処理	2
	文学と表現Ⅰ	2		横断演習Ⅰ	2
文学と表現Ⅱ	2	横断演習Ⅱ	2		

### 卒業必要単位数

1 文学部英語英米文学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて16単位以内

社会学科

授 業 科 目			単位数	備 考	授 業 科 目			単位数	備 考
必修科目	研究法入門演習		2	22 単位必修	応用領域	組織とネットワーク	ソーシャル・キャピタル論	2	
	社会調査基礎演習		2				社会ネットワーク論	2	
	共通演習		2				集団組織論	2	
	ゼミナール 1	2	社会運動論				2		
	ゼミナール 2	2	社会・集団・家族心理学				2		
	ゼミナール 3	2	教育・学校心理学				2		
	ゼミナール 4	2							
卒業研究		8							
基本科目	公共社会学		2	18 単位以上 選択必修	発展研究	メディア文化論	2	6 単位以上 選択必修	
	社会学概論		2			映像文化論	2		
	文化人類学		2			創作過程論	2		
	多文化共生論		2			情報社会論	2		
	社会心理学		2			芸術社会史	2		
	社会意識論		2			サウンドスケープ研究	2		
	社会調査法		2			社会調査実践研究	4		
	家族社会学		2		量的データ解析	2			
	社会人口論		2		発展研究 A (社会理論の可能性)	2			
	文化社会学		2		発展研究 B (ライフスタイルと社会 I)	2			
	コミュニケーション研究		2		発展研究 B (ライフスタイルと社会 II)	2			
	メディア研究		2		発展研究 C (文化と共生 I)	2			
	NPO / NGO 論		2		発展研究 C (文化と共生 II)	2			
都市社会学		2	発展研究 D (サステナビリティと地域 I)	2					
阪神文化論		2	発展研究 D (サステナビリティと地域 II)	2					
計量社会学		2	発展研究 E (組織とネットワーク I)	2					
社会統計学		2	発展研究 E (組織とネットワーク II)	2					
フィールドワーク研究		2	発展研究 F (メディアコミュニケーションと表現 I)	2					
			発展研究 F (メディアコミュニケーションと表現 II)	2					
応用領域	ライフスタイルと社会	現代家族論	2	34 単位以上 選択必修	関連科目	横断演習 I	2		
		ライフコース論	2			横断演習 II	2		
		生活福祉論	2			日本史概説 I	2		
		社会階層論 I	2			日本史概説 II	2		
		労働経済 I	2			アジア史概説 I	2		
		労働経済 II	2			アジア史概説 II	2		
	文化と共生	比較文化論	2			西洋史概説 I	2		
		現代文化論	2			西洋史概説 II	2		
		社会人類学	2			日本史研究 I	2		
		ジェンダー/セクシュアリティ論	2			日本史研究 II	2		
		融合フォーラム (ジェンダー)	2			アジア史研究 I	2		
	現代思想	2	アジア史研究 II			2			
	サステナビリティと地域	サステナビリティ論	2			西洋史研究 I	2		
		市民社会論	2			西洋史研究 II	2		
		環境社会論	2			西人文学地	2		
		地域社会論	2			政治学概論	2		
		観光文明学 I	2			政治学入門	2		
観光文明学 II		2	政治学原論	2					
			政治学誌 I	2					
			政治学誌 II	2					
			民俗学の諸問題 I	2					
			民俗学の諸問題 II	2					
			自然地理学	2					
		西の文化と応	2						

## 卒業必要単位数

1 文学部社会科学の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて10単位以内

授 業 科 目		単位数	備 考	授 業 科 目		単位数	備 考		
必修科目	人間科学入門	2	24 単位 必修	哲学思想史	比較思想史	2			
	人間科学基礎演習Ⅰ	2			人間環境論Ⅰ	2			
	人間科学基礎演習Ⅱ	2			人間環境論Ⅱ	2			
	人間科学基礎演習Ⅲ	2			倫理思想史	2			
	演習Ⅰ a	2			芸術学分野	サウンドスケープ研究		2	
	演習Ⅰ b	2				視覚メディア論		2	
	演習Ⅱ a	2				マンガ・アニメ史		2	
	演習Ⅱ b	2				モダンアート研究		2	
卒業研究	8	映像表現研究	2						
融合科目	融合フォーラム(死生学)	2	12 単位以上 選択必修	心理学分野	サブカルチャー研究	2			
	融合フォーラム(ジェンダー)	2			芸術表象論	2			
	融合フォーラム(文化と自然)	2			アート・ワークショップ実践	2			
	融合フォーラム(ファンタジー)	2			現代芸術研究	2			
	西洋古典文化論	2			身体表現研究	2			
	西洋人間科学思想入門Ⅰ	2			現代芸術ワークショップ	2			
	西洋人間科学思想入門Ⅱ	2			デザイン・ワークショップ入門	2			
	アート・ワークショップ入門	2			デザイン・ワークショップ実践	2			
	心理学と哲学	2			言語表現論	2			
	心理学と芸術	2			心理学分野	心理学統計法		2	
環境学入門論	2	発達臨床心理学	2						
身体論	2	心理学実験実習	2						
トラウマ学	2	心理療法学	2						
芸術療法	2	力動的心理学	2						
防災心理学	2	臨床心理学概論	2						
基礎科目	心理学概論	2	12 単位以上 選択必修	社会・集団・家族心理学		2			
	こころの科学	2		心理検査法		2			
	発達心理学	2		心理学研究法		2			
	学習・言語心理学	2		教育・学校心理学		2			
	哲学入門	2		精神疾患とその治療	2				
	倫理学基礎論	2		神経・生理心理学	2				
	応用倫理学	2		心理的アセスメント	2				
	西洋美術史	2		心理尺度構成法実習	2				
	日本美術史	2		心理調査計画法	2				
	日本文学思想史	2		心理地域援助	4				
	日本文学思想史	2		知覚・認知心理学	2				
	日本文学思想史	2		健康・医療心理学	2				
分野共通	欧文講読基礎Ⅰ	2	32 単位以上 選択必修	関連科目	日本文学史Ⅱ a	2			
	欧文講読基礎Ⅱ	2			日本文学史Ⅱ b	2			
	欧文講読基礎Ⅲ	2			N P O / N G O 論	2			
	欧文講読基礎Ⅳ	2			メディア文化論	2			
	演習Ⅲ a	2			地域社会論	2			
	演習Ⅲ b	2			社会心理学	2			
	展開科目	哲学分野			現代思想学	2		社会意識論	2
					環境思想史	2		現代史Ⅰ	2
					宗教思想史	2		現代史Ⅱ	2
					日本哲学史	2		比較文学特殊講義	2
メディア哲学			2	日本の舞台芸術	2				
ヒューマンライツ			2	アメリカ文学思潮史Ⅰ	2				
西洋史概説Ⅰ			2	アメリカ文学思潮史Ⅱ	2				
西洋史概説Ⅱ			2	イギリス文学思潮史Ⅰ	2				
		イギリス文学思潮史Ⅱ	2						
		ソーシャル・キャピタル論	2						



歴史文化学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考		
必修科目	基礎演習Ⅰ	2	22 単位必修	日本史史料研究Ⅰ	2	28 単位以上 選択必修	
	基礎演習Ⅱ	2		日本史史料研究Ⅱ	2		
	日本演習Ⅰ	2		日本史史料研究Ⅲ	2		
	日本演習Ⅱ	2		日本史史料研究Ⅳ	2		
	日本演習Ⅲ	2		西洋史史料研究Ⅰ	2		
	日本演習Ⅳ	2		西洋史史料研究Ⅱ	2		
	卒業研究	8		西洋史史料研究Ⅲ	2		
				西洋史史料研究Ⅳ	2		
基本科目	阪神文化論	2	32 単位以上 選択必修	アジア史史料研究Ⅰ	2		
	日本史概説Ⅰ	2		アジア史史料研究Ⅱ	2		
	日本史概説Ⅱ	2		アジア史史料研究Ⅲ	2		
	西洋史概説Ⅰ	2		アジア史史料研究Ⅳ	2		
	西洋史概説Ⅱ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅰ	2		
	アジア史概説Ⅰ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅱ	2		
	アジア史概説Ⅱ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅲ	2		
	地理学の諸問題Ⅰ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅳ	2		
	地理学の諸問題Ⅱ	2		古文書学Ⅰ	2		
	民俗学の諸問題Ⅰ	2		古文書学Ⅱ	2		
	民俗学の諸問題Ⅱ	2		実践地域学	2		
	日本史研究Ⅰ	2		ブリティッシュ・スタディーズⅠ	2		
	日本史研究Ⅱ	2		ブリティッシュ・スタディーズⅡ	2		
	西洋史研究Ⅰ	2		アメリカン・スタディーズⅠ	2		
	西洋史研究Ⅱ	2		アメリカン・スタディーズⅡ	2		
	アジア史研究Ⅰ	2		映像文化論	2		
	アジア史研究Ⅱ	2		現代文化論	2		
	地誌Ⅰ	2		地域社会論	2		
	地誌Ⅱ	2		芸術表象論	2		
	人文地理	2		西洋美術史	2		
	民俗文化研究	2		日本美術	2		
	人文地理特論Ⅰ	2		観光文明学Ⅰ	2		
	人文地理特論Ⅱ	2		観光文明学Ⅱ	2		
	民俗文化特論	2		歴史文化特殊講義Ⅰ	2		
	日本史特論Ⅰ	2		歴史文化特殊講義Ⅱ	2		
	日本史特論Ⅱ	2		歴史文化特殊講義Ⅲ	2		
	西洋史特論Ⅰ	2		歴史文化特殊講義Ⅳ	2		
	西洋史特論Ⅱ	2					
	アジア史特論Ⅰ	2					
	アジア史特論Ⅱ	2					
	発展科目	現代史Ⅰ		2	関連科目	博物館概論	2
		現代史Ⅱ		2		博物館教育論	2
現代史Ⅲ		2	博物館経営論	2			
歴史と美術		2	博物館資料論	2			
考古学Ⅰ		2	博物館展示論	2			
考古学Ⅱ		2	博物館資料保存論	2			
社会意識論		2	博物館情報・メディア論	2			
自然地理学		2	博物館実習Ⅰ	1			
都市社会学		2	博物館実習Ⅱ	1			
歴史思想		2	博物館実習Ⅲ	1			
歴史自然史		2	博物館生涯学	2			
文化流		2	社会学概論	2			
技術と文化		2	社会学概論	2			
地理情報Ⅰ		2	文化人類学	2			
地理情報Ⅱ		2	多文化共生論	2			
			社会調査法	2			
			フィールドワーク研究	2			
			哲学入門	2			
			理学基礎論	2			
			応用倫理	2			

関連科目	宗	教	思	想	史	2				
	日	本	哲	学	史	2				
	法	律	学	概	論	2				
	政	治	学	入	門	2				
	政	治	学	原	論	2				
	横	断	学	原	論	2				
	横	断	演	習	Ⅱ	2				

### 卒業必要単位数

1 文学部歴史文化学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて16単位以内

共通・関連科目

授	業	科	目	単	位	数	備	考	授	業	科	目	単	位	数	備	考			
横断科目	横断	演習	I	2					言語基礎科目	ギリシア語	入門		2							
	横断	演習	II	2						ラテン語	入門		2							
地域連携講座科目	関西の	ことばと	文学	2					社会科学基礎科目	初級	マクロ	経済学	2							
	地域	社会	論	2						初級	ミクロ	経済学	2							
	NPO	/	NGO	論	2						経	済	史	4						
	メ	ディ	ア	文化	論	2					労働	経済	I	2						
	阪	神	文	化	論	2					労働	経済	II	2						
	観	光	文	明	学	I	2				社会	経済	思想	I	2					
	観	光	文	明	学	II	2				社会	経済	思想	II	2					
国際交流科目	ジャ	パン	スタ	ディーズ	1	3					社	会	経	済	法	I	2			
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	2	3					社	会	経	済	法	II	2			
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	3	3					労働	法	I	2						
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	4	3					経営	学	総	論	4					
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	5	3					経営	学	総	論	4					
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	6	3					マ	ー	ケ	テ	ィ	ン	グ	総	論	4
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	7	3														
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	8	3														
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	9	3				教職関連科目	教	育	心	理	2					
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	10	3					教	育	相	談	2					
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	11	3					教	育	育	行	2					
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	12	3					教	育	社	会	政	論	2			
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	13	2														
	ジャ	パン	スタ	ディーズ	14	2														

理工学部

宇宙理学・量子物理工学科 宇宙理学コース

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
( 必 修 科 目 )			(少人数・参加型科目)		
基礎物理学実験	1	} 27 単位必修	数学演習 I a	1	
物理学実験 1	2		数学演習 I b	1	
物理学実験 2	2		力学・電磁気学演習 I	1	
物理学実験 3	2		力学・電磁気学演習 II	1	
力学 I	2		ワークショップ II a	1	
力学 II	2		ワークショップ II b	1	
電磁気学 I	2		ワークショップ III a	1	
電磁気学 II	2		ワークショップ III b	1	
量子論入門	2		ワークショップ IV a	1	
天文学入門	2		ワークショップ IV b	1	
物理学卒業研究	8		天体観測ワークショップ	2	
			プログラミング・AI実践	3	
( 選 択 必 修 科 目 A )		} 20 単位以上 選択必修	( 選 択 科 目 )		
トピカル・フィジクス	2		電子物性工学	2	
力学基礎	2		光・量子エレクトロニクス	2	
電磁気学基礎	2		量子情報工学	2	
振動・波動	2		光物性工学	2	
微分積分学 I	2		半導体デバイス	2	
微分積分学 II	2		確率統計学 I	2	
線形代数学 I	2		確率統計学 II	2	
線形代数学 II	2		解析学 I	2	
プログラミング・AIのためのIT入門	2		解析学 II	2	
ベクトル解析	2		コンピュータサイエンス	2	
複素関数論	2		地学通論 I	2	
解析力学	2		地学通論 II	2	
電磁気学 III	2		化学通論 I	2	
熱・統計力学	2		化学通論 II	2	
プログラミング・AI実習 I	2	生物学通論 I	2		
		生物学通論 II	2		
( 選 択 必 修 科 目 B )		} 8 単位以上 選択必修	地学実験	3	
統計力学 I	2		基礎化学実験	3	
統計力学 II	2		基礎生物学実験	3	
量子力学 I	2		博物館資料論	2	
量子力学 II	2		博物館情報・メディア論	2	
相対性理論	2				
電気・電子回路	2				
特殊関数論	2				
物性物理学 I	2				
物性物理学 II	2				
流体力学 I	2				
流体力学 II	2				
プログラミング・AI実習 II	2				
英語で学ぶ物理学	2				
科学英語	2				
( コース別科目 C-1 )		} 8 単位以上 選択必修			
素粒子物理学	2				
原子核物理学	2				
天文学概論	2				
宇宙物理学	2				
量子線計測学	2				
宇宙理学リサーチ	4				

### 卒業必要単位数

1 理工学部宇宙物理学・量子物理工学科宇宙物理学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

5 宇宙物理学コースの卒業要件を充足した者には「学士(理学)」を授与する。

宇宙理学・量子物理工学科 量子物理工学コース

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
( 必 修 科 目 )			(少人数・参加型科目)		
基礎物理学実験	1	} 27 単位必修	数学演習 I a	1	
物理学実験 1	2		数学演習 I b	1	
物理学実験 2	2		力学・電磁気学演習 I	1	
物理学実験 3	2		力学・電磁気学演習 II	1	
力学 I	2		ワークショップ II a	1	
力学 II	2		ワークショップ II b	1	
電磁気学 I	2		ワークショップ III a	1	
電磁気学 II	2		ワークショップ III b	1	
量子論入門	2		ワークショップ IV a	1	
天文学入門	2		ワークショップ IV b	1	
物理学卒業研究	8		天体観測ワークショップ	2	
			プログラミング・AI 実践	3	
( 選 択 必 修 科 目 A )			( 選 択 科 目 )		
トピカル・フィジクス	2	} 20 単位以上 選択必修	素粒子物理学	2	
力学基礎	2		原子核物理学	2	
電磁気学基礎	2		天文学概論	2	
振動・波動	2		宇宙物理学	2	
微分積分学 I	2		量子線計測学	2	
微分積分学 II	2		確率統計学 I	2	
線形代数学 I	2		確率統計学 II	2	
線形代数学 II	2		解析学 I	2	
プログラミング・AIのためのIT入門	2		解析学 II	2	
ベクトル解析	2		コンピュータサイエンス	2	
複素関数論	2		地学通論 I	2	
解析力学	2		地学通論 II	2	
電磁気学 III	2		化学通論 I	2	
熱・統計力学	2		化学通論 II	2	
プログラミング・AI 実習 I	2		生物学通論 I	2	
		生物学通論 II	2		
( 選 択 必 修 科 目 B )			地学実験	3	
統計力学 I	2	} 8 単位以上 選択必修	基礎化学実験	3	
統計力学 II	2		基礎生物学実験	3	
量子力学 I	2		博物館資料論	2	
量子力学 II	2		博物館情報・メディア論	2	
相対性理論	2				
電気・電子回路論	2				
特殊関数論	2				
物性物理学 I	2				
物性物理学 II	2				
流体力学 I	2				
流体力学 II	2				
プログラミング・AI 実習 II	2				
英語で学ぶ物理学	2				
科学英語	2				
( コース別科目 C・2 )					
電子物性工学	2	} 8 単位以上 選択必修			
光・量子エレクトロニクス	2				
量子情報工学	2				
光物性工学	2				
半導体デバイス	2				
量子物理工学リサーチ	4				

### 卒業必要単位数

- 1 理工学部宇宙理学・量子物理工学科量子物理工学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

- 2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。
- 3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。
- 4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。
- 5 量子物理工学コースの卒業要件を充足した者には「学士(理工学)」を授与する。

宇宙理学・量子物理工学科 文理融合コース

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考	
(必修科目)			原子核物理学	2		
基礎物理学実験	1	} 27単位必修	天文学概論	2		
物理学実験1	2		宇宙物理学	2		
物理学実験2	2		量子線計測学	2		
物理学実験3	2		電子物性工学	2		
力学I	2		光・量子エレクトロニクス	2		
力学II	2		量子情報工学	2		
電磁気学I	2		光物性工学	2		
電磁気学II	2		半導体デバイス	2		
量子論入門	2		博物館資料論	2		
天文学入門	2		博物館情報・メディア論	2		
文理融合総合研究	8					
(選択必修科目 A)				(コース別科目 C-3)		
トピカル・フィジクス	2		} 20単位以上 選択必修	共通応用演習Ⅰ	2	
力学基礎	2	共通応用演習Ⅱ		2		
電磁気学基礎	2	文理融合リサーチ		4		
振動・波動	2	(少人数・参加型科目)				
微分積分学Ⅰ	2	数学演習Ⅰ a		1		
微分積分学Ⅱ	2	数学演習Ⅰ b		1		
線形代数学Ⅰ	2	力学・電磁気学演習Ⅰ		1		
線形代数学Ⅱ	2	力学・電磁気学演習Ⅱ		1		
プログラミング・AIのためのIT入門	2	ワークショップⅡ a		1		
ベクトル解析	2	ワークショップⅡ b		1		
複素関数論	2	ワークショップⅢ a		1		
解析力学	2	ワークショップⅢ b		1		
電磁気学Ⅲ	2	ワークショップⅣ a		1		
熱・統計力学	2	ワークショップⅣ b	1			
プログラミング・AI実習Ⅰ	2	天体観測ワークショップ	2			
(選択必修科目 B)			プログラミング・AI実践	3		
統計力学Ⅰ	2	} 8単位以上 選択必修				
統計力学Ⅱ	2					
量子力学Ⅰ	2					
量子力学Ⅱ	2					
相対性理論	2					
電気・電子回路論	2					
特殊関数論	2					
物性物理学Ⅰ	2					
物性物理学Ⅱ	2					
流体力学Ⅰ	2					
流体力学Ⅱ	2					
プログラミング・AI実習Ⅱ	2					
英語で学ぶ物理学	2					
科学英語	2					
確率統計学Ⅰ	2					
確率統計学Ⅱ	2					
解析学Ⅰ	2					
解析学Ⅱ	2					
コンピュータサイエンス	2					
地学通論Ⅰ	2					
地学通論Ⅱ	2					
化学通論Ⅰ	2					
化学通論Ⅱ	2					
生物学通論Ⅰ	2					
生物学通論Ⅱ	2					
地学実験	3					
基礎化学実験	3					
基礎生物学実験	3					
素粒子物理学	2					

## 卒業必要単位数

1 理工学部宇宙物理学・量子物理工学科文理融合学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

5 キャリア創生共通科目(エリアスタディーズⅠ～Ⅹ、海外ボランティアⅠ・Ⅱ、ベーシック・キャリアデザイン、データサイエンス基礎を除く)を、専門教育科目として22単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

6 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目を、専門教育科目として16単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

7 文理融合コースの卒業要件を充足した者には「学士(理学)」を授与する。

生物学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考	
( 選 択 必 修 A )			コンピュータサイエンス	2	30 単位以上 選択必修 ただし、 C <sub>2</sub> からは 8 単位、 C <sub>3</sub> からは 16 単位を 限度として 含めること ができる。	
細胞生物学	2	32 単位以上 選択必修	線形代数 A	2		
生態学	2		線形代数 B	2		
植物生物学	2		微分積分 A	2		
植物細胞工	2		微分積分 B	2		
遺伝学概論	2		確率統計学 I	2		
分子遺伝概論	2		確率統計学 II	2		
発生生物学	2		博物館資料論	2		
生物物理化学	2		博物館情報・メディア論	2		
酵素化学	2		情報通信テクノロジー I	2		
環境生物学	2		IT 応用	2		
系統分類学	2		統計基礎	2		
動物生理学	2		データサイエンス基礎	2		
比較生理	2		( 選 択 必 修 C <sub>2</sub> )			
植物細胞生物学	2		文化人類学	2		
植物分子生物学	2		多文化共生論	2		
微生物生理学	2		自然地理学	2		
微生物遺伝学	2		人文地理学	2		
微生物学入門	2		人文地理特論 I	2		
基礎生物学 I	2		環境学入門	2		
基礎生物学 II	2		環境学	2		
科学英語演習 I	2		( 選 択 必 修 C <sub>3</sub> )			
科学英語演習 II	2		中級英語 Speaking	4		
基礎生物学演習 I	2		中級英語 Presentation	4		
基礎生物学演習 II	2		中級英語 Listening	4		
( 選 択 必 修 B )				中級英語 Reading		4
基礎生物学実験	3		23 単位以上 選択必修	中級英語 Writing		4
生物学臨海実習	2			中級英語 Pronunciation		2
生物学専門実験及び演習 I	5			中級英語 TOEIC		4
生物学専門実験及び演習 II	5	中級英語 Global Topics I		2		
生物学専門実験及び演習 III	5	中級英語 Global Topics II		2		
生物学専門実験及び演習 IV	5	中級英語 Life Topics I		2		
( 選 択 必 修 C <sub>1</sub> )				中級英語 Life Topics II		2
生物学卒業実験	1 2			中級英語 Career English I		2
生物学特殊講義 I	2			中級英語 Career English II		2
生物学特殊講義 II	2			上級英語 TOEIC		4
生物学特殊講義 III	2		上級英語 Global Topics I	2		
生物学特殊講義 IV	2		上級英語 Global Topics II	2		
生物学特殊講義 V	2		上級英語 Life Topics I	2		
生物学特殊講義 VI	2		上級英語 Life Topics II	2		
生物学特設科目 I	1		上級英語 Career English I	2		
生物学特設科目 II	2		上級英語 Career English II	2		
Biological Science I	1		海外語学講座 I	4		
Biological Science II	1		海外語学講座 II	4		
Biological Science III	2		海外語学講座 III	2		
Biological Science IV	2		海外語学講座 IV	2		
化学通論 I	2		T O E F L I	2		
化学通論 II	2		T O E F L II	2		
有機化学 A	2		I E L T S I	2		
有機化学 B	2		I E L T S II	2		
物理化学 A	2		English Regions I	2		
物理化学 B	2		English Regions II	2		
基礎化学実験	3		English Regions III	2		
分析化学 A	2		English Regions IV	2		
分析化学 B	2		外国留学科目 I	4		
物理学通論 I	2		外国留学科目 II	4		
物理学通論 II	2		外国留学科目 III	4		
熱力学	2		外国留学科目 IV	4		
ラボラトリー・フィジクス	3		上級外国留学科目 I	4		
地学通論 I	2		上級外国留学科目 II	4		
地学通論 II	2		大学日本語中級 I	4		
地学実	3		大学日本語中級 II	4		
			大学日本語上級 I	4		
			大学日本語上級 II	4		
			海外ボランティア I	4		
			海外ボランティア II	2		

授 業 科 目	単位数	備 考
(博物館学芸員科目)		
生涯学習概論	2	卒業必要単位数に充てることはできない。
博物館概論	2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館教育論	2	
博物館展示論	2	
博物館実習Ⅰ	1	
博物館実習Ⅱ	1	
博物館実習Ⅲ	1	

#### 卒業必要単位数

1 理工学部生物学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 エリアスタディーズⅠ～Ⅹについては2単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、選択必修の単位数に充てることはできない。

3 大学日本語科目（大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ）は、外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

## 物質化学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
( 実 験 研 究 科 目 )			( 応 用 科 目 )		
物 質 化 学 入 門 験	2	} 17 単位必修	有 機 材 料 工 学	2	
基 礎 化 学 実 験	3		固 体 化 学	2	
物 質 化 学 実 験 A	3		有 機 構 造 化 学	2	
物 質 化 学 実 験 B	3		材 料 電 気 化 学	2	
物 質 化 学 実 験 C	3		反 応 速 度 論	2	
物 質 化 学 講 座	1		応 用 分 析 化 学	2	
化 学 研 究 に お け る 安 全 と 倫 理	2		量 子 論	2	
( 基 礎 科 目 )			合 成 有 機 化 学	2	
化 学 基 礎 A	2	} 14 単位必修	化 学 工 学	2	
化 学 基 礎 B	2		キ ャ リ ア デ ザ イ ン	1	
分 析 化 学 基 礎	2		技 術 と ビ ジ ネ ス	2	
分 子 化 学 基 礎	2		光 材 料 工 学	2	
有 機 化 学 基 礎	2		応 用 有 機 化 学	2	
無 機 化 学 基 礎	2		物 質 化 学 特 別 講 義 1	1	
材 料 化 学 基 礎	2		物 質 化 学 特 別 講 義 2	1	
( 数 理 科 目 )			物 質 化 学 特 別 講 義 3	1	
化 学 数 学 基 礎 A	2	} 10 単位以上 選 択 必 修	物 質 化 学 特 別 講 義 4	1	
化 学 数 学 基 礎 B	2		( 自 然 科 学 ・ 情 報 科 目 )		
化 学 数 学 基 礎 C	2		生 物 学 通 論 I	2	
化 学 数 学 基 礎 D	2		生 物 学 通 論 II	2	
化 学 数 学 A	2		地 学 通 論 I	2	
化 学 数 学 B	2		地 学 通 論 II	2	
化 学 の た め の 物 理 A	2		物 理 学 通 論 I	2	
化 学 の た め の 物 理 B	2		物 理 学 通 論 II	2	
( 基 幹 科 目 )			I T 基 礎	2	
分 析 化 学 A	2	} 18 単位以上 選 択 必 修	I T 応 用	2	
分 析 化 学 B	2		情 報 通 信 テ ク ノ ロ ジ	2	
物 理 化 学 A	2		統 計 基 礎	2	
物 理 化 学 B	2		デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎	2	
有 機 化 学 A	2		統 計 活 用 情 報 分 析 I	2	
有 機 化 学 B	2		統 計 活 用 情 報 分 析 II	2	
無 機 化 学 A	2		基 礎 生 物 学 実 験	3	
無 機 化 学 B	2		ラ ボ ラ ト リ ー ・ フ ィ ズ ッ ク ス	3	
高 分 子 合 成 化 学	2		地 学 実 験	3	
高 分 子 化 学	2		( キ ャ リ ア 系 科 目 )		
材 料 化 学	2		実 践 ボ ラ ン テ ィ ア I	1	
錯 体 化 学	2	実 践 ボ ラ ン テ ィ ア II	1		
( 卒 業 科 目 )			情 報 通 信 テ ク ノ ロ ジ II	2	
物 質 化 学 卒 業 研 究	1 2	} 12 単位又は 6 単 位 選 択 必 修	地 域 プ ロ ジ ェ ク ト I	2	
物 質 化 学 卒 業 演 習 お よ び 実 習	6		地 域 プ ロ ジ ェ ク ト II	2	
			地 域 フ ァ シ リ テ イ ト	2	
			入 門 マ ネ ジ メ ン ト	2	
			入 門 ビ ジ ネ ス 会 計	2	
			入 門 商 業 簿 記 I	2	
			入 門 商 業 簿 記 II	2	
			ビ ジ ネ ス を 支 え る 法 の 世 界	2	
			入 門 ビ ジ ネ ス 法 務	2	
			知 的 財 産 と イ ノ ベ ー シ ョ ン I	2	
			知 的 財 産 と イ ノ ベ ー シ ョ ン II	2	
			基 本 情 報 技 術	2	
			I C T セ キ ュ リ テ イ	2	
			実 践 マ ネ ジ メ ン ト	2	
			実 践 ビ ジ ネ ス 会 計	2	
		実 践 ビ ジ ネ ス 法 務	2		
		起 業 ・ ア ン ト レ プ レ ナ ー シ ョ ン を 学 ぶ	2		

### 卒業必要単位数

1 理工学部物質化学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
<hr/>	
計	128単位以上

2 「中級英語」については8単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

3 エリアスタディーズⅠ～Ⅹ及び English RegionsⅢ・Ⅳについては2単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

環境・エネルギー工学科

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考	
必修科目	環境・エネルギー工学入門	1	} 26 単位必修	選択科目 A	( 専 門 科 目 )		
	ラボラトリー・フィジックス	3			合成有機化学	2	
	科学実験基礎	1			反応速度論	2	
	ラボラトリー・ケミストリー	3			材料電気化学	2	
	環境・エネルギー工学実験1	3			量子論	2	
	環境・エネルギー工学卒業研究	1 2			コンピュータ材料化学	2	
	研究における安全と倫理	1			電気・電子工学	2	
	工 学 英 語	2			エネルギー材料工学	2	
選択必修科目 A	( 専 門 実 験 科 目 )		} 4 単位以上 選択必修		有機材料工学	2	
	環境・エネルギー工学実験2	4			光材料工学	2	
	環境・エネルギー実験3	4			電子材料工学	2	
選択必修科目 B	( 基 礎 科 目 )		} 20 単位以上 選択必修		知的財産論	1	
	化 学	1			環境・エネルギー工学特別演習1	2	
	化 学	2			環境・エネルギー工学特別演習2	2	
	有機化学基礎	2			環境・エネルギー工学特別演習3	1	
	基礎科学演習1	1			環境・エネルギー工学特別講義1	1	
	基礎科学演習2	1			環境・エネルギー工学特別講義2	1	
	力学基礎	2			環境・エネルギー工学特別講義3	1	
	振動・波動	2		選択科目 B	( 関 連 科 目 )		} 12 単位を上限として卒業必要単位数に充てる ことができる。
	電磁気学基礎	2			生物学通論 I	2	
	地球科学1	2			生物学通論 II	2	
	地球科学2	2			I T 基礎	2	
天文学入門	2	I T 応用	2				
工学のための数学1	2	基礎生物学実験	3				
工学のための数学2	2	地 学 実 験	3				
選択必修科目 C	( 専 門 基 礎 科 目 )		} 21 単位以上 選択必修				
	工学のための数学演習1	1					
	工学のための数学演習2	1					
	工学のための応用数学1	2					
	工学のための応用数学2	2					
	工学のための I T	1					
	電磁気学 I	2					
	電磁気学 II	2					
	分析化学 A	2					
	熱力学基礎	2					
	物理化学 A	2					
物理化学 B	2						
有機化学 A	2						
有機化学 B	2						
無機化学 A	2						
無機化学 B	2						
量子化学	2						
高分子合成化学	2						
選択必修科目 D	( 基 幹 専 門 科 目 )		} 6 単位以上 選択必修				
	環境・エネルギー工学キャリアデザイン	1					
	環境・エネルギー工学基礎	1					
	固体科学入門	2					
環境科学	2						
環境材料工学	2						

### 卒業必要単位数

1 理工学部環境・エネルギー工学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、及び「English Regions Ⅲ・Ⅳ」については10単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

3 キャリア創生共通科目のうち、「実践ボランティアⅠ・Ⅱ」及び「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」については4単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

4 キャリア創生共通科目のうち、「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

経済学部  
経済学科

授業科目	単位数	備考	授業科目	単位数	備考						
基礎科目	基礎ゼミⅠ	2	18単位必修	A群 (理論・情報)	上級ミクロ経済学Ⅰ	2					
	経済入門Ⅰ	4			上級ミクロ経済学Ⅱ	2					
	経済入門Ⅱ	4			上級マクロ経済学Ⅰ	2					
	入門ミクロ経済学	4			上級マクロ経済学Ⅱ	2					
	入門マクロ経済学	4			計量経済Ⅰ	2					
	基礎ゼミⅡ	2			計量経済Ⅱ	2					
	英語で読む経済Ⅰ	2			家計の経済	2					
	ベーシック・キャリアデザイン	2			B群 (財政・金融)	国際金融Ⅰ	2				
	統計入門	2				国際金融Ⅱ	2				
	数学入門	2				地方財政Ⅰ	2				
中級科目	ゼミⅠ 英語で読む経済Ⅱ 経済政策 経済学の歴史 情報リテラシーA 情報リテラシーB PC統計学 キャリアゼミ プロジェクトゼミ 現代経済学特論Ⅰ 現代経済学特論Ⅱ 経済数学 地域プロジェクトⅠ 外国大学中級科目A 外国大学中級科目B	合計20単位以上選択必修	C群 (公共経済)	地方財政Ⅱ		2					
				金融政策Ⅰ		2					
				金融政策Ⅱ		2					
				ファイナンスⅠ		2					
				ファイナンスⅡ		2					
				公共政策		2					
				経済体制Ⅰ		2					
				経済体制Ⅱ	2						
				労働経済Ⅱ	2						
				健康経済	2						
地域政策ワークショップA	2										
地域政策ワークショップB	2										
中級科目	A群 (理論・情報) B群 (財政・金融) C群 (公共経済) D群 (国際経済) E群 (産業・企業) F群 (歴史・思想)	合計20単位以上選択必修	D群 (国際経済)	現代アジア経済Ⅰ	2						
				現代アジア経済Ⅱ	2						
				現代中国経済	2						
				現代アメリカ経済	2						
				現代ヨーロッパ経済	2						
				現代日本経済	2						
				中級科目	E群 (産業・企業)	合計20単位以上選択必修	E群 (産業・企業)	産業組織Ⅰ	2		
								産業組織Ⅱ	2		
								ネットワークエコノミクスⅠ	2		
								ネットワークエコノミクスⅡ	2		
環境経済Ⅰ	2										
環境経済Ⅱ	2										
中級科目	F群 (歴史・思想)	合計20単位以上選択必修	F群 (歴史・思想)					現代経済学の諸潮流	2		
								日本の経済思想家	2		
								日本経済史Ⅰ	2		
								日本経済史Ⅱ	2		
				西洋経済史Ⅰ	2						
				西洋経済史Ⅱ	2						
				上級科目	ゼミⅡ ゼミⅢ 震災と地域経済Ⅰ 震災と地域経済Ⅱ 所得課税法 法人課税法 ビジネスデータ分析 キャリア実習 地域プロジェクトⅡ 外国大学上級科目A 外国大学上級科目B 外国大学上級科目C 外国大学上級科目D	合計20単位以上選択必修	F群 (歴史・思想)	F群 (歴史・思想)	経済史	4	
									社会経済思想Ⅰ	2	
									社会経済思想Ⅱ	2	
									上級科目	共通科目	合計20単位以上選択必修
ゼミⅢ	2										
震災と地域経済Ⅰ	2										
震災と地域経済Ⅱ	2										
所得課税法	2										
法人課税法	2										
ビジネスデータ分析	2										
キャリア実習	2										
地域プロジェクトⅡ	2										
外国大学上級科目A	4										
外国大学上級科目B	4										
外国大学上級科目C	4										
外国大学上級科目D	4										

合計38単位以上選択必修

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2		アジア史概説Ⅰ	2	
プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2		アジア史概説Ⅱ	2	
アドバンスト・キャリアデザイン	2		西洋史概説Ⅰ	2	
簿記Ⅰ	4		西洋史概説Ⅱ	2	
簿記Ⅱ	4		日本史概説Ⅰ	2	
公 共 社 会 学	2		日本史概説Ⅱ	2	
社 会 学 概 論	2		地域ファシリテイト	2	
文 化 人 類 学	2		外国大 学 科 目 A	2	
多 文 化 共 生 論	2		外国大 学 科 目 B	2	
憲 法 Ⅰ	2		外国大 学 科 目 C	2	
憲 法 Ⅱ	2		外国大 学 科 目 D	2	
労 働 法 Ⅰ	2		入門民法 財産法編Ⅰ	2	
経 済 法 Ⅰ	2		入門民法 財産法編Ⅱ	2	
経 済 法 Ⅱ	2		実践民法Ⅰ	2	
政 治 学 入 門	2		実践民法Ⅱ	2	
税 法 Ⅰ	2		実践民法Ⅲ	2	
税 法 Ⅱ	2		実践民法Ⅳ	2	
経 営 学 総 論	4		実践民法Ⅴ	2	
会 計 学 総 論	4		実践民法Ⅵ	2	
マ ー ケ テ ィ ン グ 総 論	4		入門商法 会社法編	2	
経 営 実 務 a	2		証券市場と法	2	
経 営 実 務 b	2		金融取引と法	2	
経 営 実 務 c	2		証券業と法	2	
人 文 地 理	2				
地 誌 Ⅰ	2				
地 誌 Ⅱ	2				
自 然 地 理 学	2				
法 律 学 概 論	2				
政 治 学 原 論	2				

### 卒業必要単位数

1 経済学部経済学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上を修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	100単位以上
計	128単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

ア 中級外国語・上級外国語・海外語学講座・留学支援科目については、16単位以内（ただし、国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）

イ 「グローバル・コミュニケーションⅠ」、「グローバル・コミュニケーションⅡ」については、8単位以内

ウ ジャパンスタディーズについては、4単位以内

エ エリアスタディーズについては、2単位以内

オ 生涯スポーツについては、2単位以内

カ 「IT応用」、「データサイエンス基礎」については、2単位以内

キ 実践ボランティアについては、2単位以内

ク 甲南女子大学との単位互換協定に関する科目については、4単位以内

ケ 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換協定に関する科目については、4単位以内

法学部  
法学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考			
A 専門基礎	公 法 入 門	2	6 単位以上 選択必修	D 公 法	憲 法 I	2	8 単位以上 選択必修	
	民 事 法 入 門	2			憲 法 II	2		
	刑 事 法 入 門	2			憲 法 III	2		
	政 治 学 入 門	2			比 較 憲 法	2		
B 基礎法	法 社 会 学 I	2	4 単位以上 選択必修		行 政 法 総 論 I	2		8 単位以上 選択必修
	法 社 会 学 II	2			行 政 法 総 論 II	2		
	西 洋 法 史 I	2			行 政 救 済 法 I	2		
	西 洋 法 史 II	2			行 政 救 済 法 II	2		
	日 本 法 史 I	2			地 方 自 治	2		
	日 本 法 史 II	2			税 法 I	2		
	英 米 法 I	2			税 法 II	2		
	英 米 法 II	2			国 際 法 I	2		
	ア ジ ア 法 論	2			国 際 法 II	2		
	比 較 法 文 化 論	2			国 際 法 III	2		
法 哲 学 I	2	刑 法 総 論 I	2	8 単位以上 選択必修				
法 哲 学 II	2	刑 法 総 論 II	2					
C 政治	西 洋 政 治 史 I	2	6 単位以上 選択必修		刑 法 各 論 I	2		
	西 洋 政 治 史 II	2			刑 法 各 論 II	2		
	日 本 政 治 史 I	2			刑 事 訴 訟 法 I	2		
	日 本 政 治 史 II	2			刑 事 訴 訟 法 II	2		
	行 政 学 I	2			刑 事 政 策 学	2		
	行 政 学 II	2			民 法 総 則 I	2		
	国 際 政 治 学 I	2			民 法 総 則 II	2		
	国 際 政 治 学 II	2			物 権 法 I	2		
	外 交 史 I	2			物 権 法 II	2		
	外 交 史 II	2			債 権 法 I	2		
	グ ローバル 地 域 研 究	2			債 権 法 II	2		
	ア メリカ 地 域 研 究	2			不 法 行 為 法	2		
	ア ジア 地 域 研 究	2		親 族 続 続 法	2			
	政 治 学 原 論	2		相 続 私 法 I	2			
	現 代 政 治 学 I	2		相 続 私 法 II	2			
	現 代 政 治 学 II	2		国 際 商 法 I	2			
	政 治 過 程 論 I	2		国 際 商 法 II	2			
	政 治 過 程 論 II	2		国 際 商 法 III	2			
	日 本 政 治 思 想 史 I	2		国 際 商 法 IV	2			
	日 本 政 治 思 想 史 II	2		国 際 商 法 V	2			
西 洋 政 治 思 想 史 I	2	民 事 訴 訟 法 I	2					
西 洋 政 治 思 想 史 II	2	民 事 訴 訟 法 II	2					
E 民事法	6 単位以上 選択必修	民 事 訴 訟 法 III	2	8 単位以上 選択必修				
		民 事 訴 訟 法 I	2					
		民 事 訴 訟 法 II	2					
		民 事 訴 訟 法 III	2					
		民 事 訴 訟 法 I	2					
		民 事 訴 訟 法 II	2					
		民 事 訴 訟 法 III	2					
		民 事 訴 訟 法 I	2					
		民 事 訴 訟 法 II	2					
		民 事 訴 訟 法 III	2					

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考			
F 隣接領域	初級ミクロ経済学	2	26単位まで、卒業 必要単位数に充 てることができる。	G 情報	ビジネスシステム論	4		
	初級マクロ経済学	2			法学部情報処理Ⅰ	2		
	経営学総論	4			法学部情報処理Ⅱ	2		
	会計学総論	4		H 演習	基礎演習	2		2単位必修
	マーケティング総論	4			アドバンスト・ゼミⅠ	2		6単位まで、卒 業必要単位数に 充てることができる。
	司法・犯罪心理学	2			アドバンスト・ゼミⅡ	2		
	日本史概説Ⅰ	2			アドバンスト・ゼミⅢ	2		
	日本史概説Ⅱ	2			選択演習Ⅰ	2		8単位まで、卒 業必要単位数に 充てることができる。
	アジア史概説Ⅰ	2			選択演習Ⅱ	2		
	アジア史概説Ⅱ	2			選択演習Ⅲ	2		
	西洋史概説Ⅰ	2			選択演習Ⅳ	2		
	西洋史概説Ⅱ	2			選択演習Ⅴ	2		
	労働経済Ⅰ	2			選択演習Ⅵ	2		
	労働経済Ⅱ	2		選択演習Ⅶ	2			
	財政	4		選択演習Ⅷ	2			
	国際経済	4		選択演習Ⅷ	2			
	公共経済	4		専門演習	4			
	経営管理論	4		I 特殊講義	特殊講義Ⅰ	2		
	経営戦略論	4			特殊講義Ⅱ	2		
	財務諸表論	4			特殊講義Ⅲ	2		
	ベンチャービジネス	4			特殊講義Ⅳ	2		
	ソーシャル・キャピタル論	2			外国文献講読	2		
	家族社会学	2			留学(法学・政治学)Ⅰ	2		
	現代家族論	2			留学(法学・政治学)Ⅱ	2		
	福祉法政策	2			自治体のしくみと仕事	2		
	司法福祉論	2			実践法学Ⅰ	2		
	ジェンダー法学	2			実践法学Ⅱ	2		
	環境学入門	2		実践法学Ⅲ	2			
	環境学	2		J その他	法律学概論	2		卒業必要単位 数に充てること とはできない。
	NPO/NGO論	2			留学(その他)Ⅰ	2		
	公共社会学	2			留学(その他)Ⅱ	2		
	社会学概論	2			留学(その他)Ⅲ	2		
社会心理学	2	K キャリア	留学(その他)Ⅳ	2	6単位まで、卒 業必要単位数に 充てることができる。			
社会意識	2		ベーシック・キャリアデザイン	2				
			キャリアゼミ	2				
			キャリア実習	2				
			プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2				
		プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2					
		アドバンスト・キャリアデザイン	2					

## 卒業必要単位数

1 法学部法学科の学生は、次に定めるところに従って合計126単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	98単位以上
計	126単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。なお、(1) (2) (3) 併せて16単位以内とする。

- (1) 中級外国語・上級外国語・海外語学講座・留学支援科目については、16単位以内（ただし、国際言語文化副専攻を選択した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語 I・II」「中級フランス語 I・II」「中級中国語 I・II」「中級韓国語 I・II」及び「大学日本語中級 I・II」「大学日本語上級 I・II」を除く。）
- (2) エリアスタディーズについては、2単位以内
- (3) ジャパンスタディーズについては、8単位以内
- (4) 「IT 応用」「データサイエンス基礎」については、2単位以内



授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
経 営 学 特 論 a	4		国 際 経 済	4	
経 営 学 特 論 b	4		産 業 経 済	4	
経 営 学 特 論 c	4		入 門 ビジネス法務	2	
経 営 学 特 論 d	4		ビジネスを支える法の世界	2	
経 営 学 特 論 e	2		ベーシック・キャリアデザイン	2	
会 計 学 特 論 a	4		プラクティカル・キャリアデザインI	2	
会 計 学 特 論 b	4		プラクティカル・キャリアデザインII	2	
会 計 学 特 論 c	4		アドバンスト・キャリアデザイン	2	
会 計 学 特 論 d	4		キ ャ リ ア 実 習	2	
会 計 学 特 論 e	2		実 践 ボ ラ ン テ ィ ア I	1	
商 学 特 論 a	4		実 践 ボ ラ ン テ ィ ア II	1	
商 学 特 論 b	4		イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル OCA	2	
商 学 特 論 c	4		職 業 指 導 I	2	
商 学 特 論 d	4		職 業 指 導 II	2	
商 学 特 論 e	2		人 文 地 理	2	
経 営 実 務 a	2		地 誌 I	2	
経 営 実 務 b	2		自 然 地 理 学	2	
経 営 実 務 c	2		日 本 史 概 説 I	2	
経 営 実 務 d	2		日 本 史 概 説 II	2	
中 級 簿 記	4		ア ジ ア 史 概 説 I	2	
工 業 簿 記	4		ア ジ ア 史 概 説 II	2	
起業・アントレプレナーシップを学ぶ	2		西 洋 史 概 説 I	2	
経営コンサルティング論	2		西 洋 史 概 説 II	2	
情 報 処 理 I	4		政 治 学 入 門	2	
情 報 処 理 II	4		政 治 学 原 論	2	
グ ローバル・ビ ジ ネ ス 特 論 I	2		法 律 学 概 論	2	
グ ローバル・ビ ジ ネ ス 特 論 II	2		入 門 民 法 財 産 法 編 I	2	
外 書 講 読 I	4		入 門 民 法 財 産 法 編 II	2	
外 書 講 読 II	4		実 践 民 法 I	2	
ビ ジ ネ ス 英 語 I	2		実 践 民 法 II	2	
ビ ジ ネ ス 英 語 II	2		実 践 民 法 III	2	
ビ ジ ネ ス 英 会 話 ・ 初 級	4		実 践 民 法 IV	2	
ビ ジ ネ ス 英 会 話 ・ 上 級	4		実 践 民 法 V	2	
実践的経営シミュレーション演習	4		実 践 民 法 VI	2	
初 級 マ ク ロ 経 済 学	2		入 門 商 法 会 社 法 編	2	
初 級 ミ ク ロ 経 済 学	2		証 券 市 場 と 法	2	
財 政	4		金 融 取 引 と 法	2	
金 融	4		証 券 業 と 法	2	
			公 共 政 策 論 I	2	
			公 共 政 策 論 II	2	

### 卒業必要単位数

1 経営学部経営学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	<u>102単位以上</u>
計	130単位以上

2 BPコース・GBコース・APコース科目は、ビジネス・リーダー養成プログラムに所属している学生のみ履修できる。

3 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、選択必修の単位数に充てることができない。

(1) 中級外国語・上級外国語・海外語学講座・留学支援科目の単位を併せて20単位以内（ただし、国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）

(2) 文学部英語英米文学科の「English Studies Ⅰ～Ⅷ」から、8単位以内

(3) 生涯スポーツについては、2単位以内

(4) 「IT応用」の2単位

(5) 「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」については、4単位以内

(6) 「ジャパNSTAディーズ1～14」については、6単位以内

(7) 「地域ファシリテイト」、「地域プロジェクトⅠ」、「地域プロジェクトⅡ」については、6単位以内

(8) 「データサイエンス基礎」の2単位

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
( 必 修 科 目 )			( 選 択 科 目 )		
知能情報学概論及び基礎演習	2	34 単位必修	I T 基 礎	2	
プログラミング演習Ⅰ	2		情 報 社 会 と 情 報 倫 理	2	
プログラミング演習Ⅱ	2		確 率 統 計 Ⅱ	2	
微分積分及び演習Ⅰ	3		応 用 統 計 学	2	
微分積分及び演習Ⅱ	3		オブジェクト指向プログラミング	2	
線形代数及び演習Ⅰ	3		信 号 解 析	2	
線形代数及び演習Ⅱ	3		ブレインサイエンスⅠ	2	
確 率 統 計 Ⅰ	2		コンパイラ・インタプリタ	2	
アドバンストプログラミング演習	2		ブレインサイエンスⅡ	2	
知能情報学セミナーⅠ	2		数値プログラミング技法	2	
知能情報学セミナーⅡ	2		最 適 化	2	
卒 業 研 究 及 び 演 習	8			情 報 セ キ ュ リ テ ィ	2
( 選 択 必 修 科 目 A )		14 単位以上 選択必修	セ ン サ ー 工 学	2	
コンピュータサイエンス	2		電 気 電 子 回 路 入 門	2	
情報通信ネットワーク	2		グ ラ フ 理 論	2	
情 報 理 論	2		離 散 数 学	2	
データ構造とアルゴリズムⅠ	2		集 合 と 論 理	2	
コンピュータアーキテクチャ	2		プ ロ ジ ェ ク ト 演 習	2	
オペレーティングシステム	2		情 報 英 語	2	
人 工 知 能	2		人 間 工 学	2	
ヒューマンインタフェース	2		ロ ボ テ ィ ク ス	2	
データ構造とアルゴリズムⅡ	2		メ デ ィ ア 情 報 処 理	2	
デ ー タ ベ ース	2		Web コンピューティング	2	
( 選 択 必 修 科 目 B )			2 単位以上 選択必修	コンピュータグラフィックス	2
コース演習：クラウドシステム	2	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学		2	
コース演習：AIデータサイエンス	2	機 械 学 習		2	
コース演習：知能ロボット	2	シ ス テ ム 解 析		2	
コース演習：メディアデザイン	2	行 動 計 測 学		2	
コース演習：ヒューマンセンシング	2	生 理 計 測 学		2	
コース演習：数理情報	2	自 然 言 語 処 理		2	
		実 験 デ ザ イン と デ ー タ 処 理		2	
		画 像 工 学		2	
		感 性 計 測 学		2	
		メ デ ィ ア デ ザ イン		2	
		代 数 学 Ⅰ		2	
		代 数 学 Ⅱ		2	
		解 析 学 Ⅰ		2	
		解 析 学 Ⅱ		2	
		幾 何 学 Ⅰ		2	
		幾 何 学 Ⅱ		2	
		情 報 と 職 業		2	

**卒業必要単位数**

1 知能情報学部知能情報学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 データサイエンス基礎の2単位については、専門教育科目として選択科目に充てることができる。

3 ベーシック・キャリアデザイン、キャリア実習、プラクティカル・キャリアデザインⅠ、プラクティカル・キャリアデザインⅡについては、合計4単位までを専門教育科目として選択科目に充てることができる。

4 中級外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・外国留学科目・日本語）、上級外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・外国留学科目・日本語）、海外語学講座・留学支援科目（うち、海外語学講座のみ。）、キャリア創生共通科目（国際系）のうちエリアスタディーズ、キャリア創生共通科目(ボランティア・地域連携系)のうち地域連携系科目については、専門教育科目として8単位以内を選択科目に充てることができる。ただし、上記の専門教育科目の選択科目に充てることができるエリアスタディーズおよびキャリア創生共通科目(ボランティア・地域連携系)のうち地域連携系科目の修得単位数の上限は、それぞれ2単位とする。

5 大学日本語科目（大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ）は、外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

別表第2の(2)削除

別表第2の(3)

マネジメント創造学部

マネジメント創造学科

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考		
フレーム形成科目	CUBE入門	2	18単位 必修	経済学の実践	産業と規制	2	24単位以上 選択必修	
	学びデザイン	2			経済と社会	2		
	ロジカル・シンキング	2			雇用と賃金	2		
	リサーチ・イントロダクション	2			こころと経済	2		
	経済学入門Ⅰ	2			地球環境政策	2		
	経済学入門Ⅱ	2			公共政策	2		
	経営学入門Ⅰ	2			国際金融と貿易	2		
	経営学入門Ⅱ	2			経済成長と国際協力	2		
ITリテラシー	2		ミクロ経済と現代社会	2				
			マクロ経済と現代社会	2				
導入基礎科目	Core科目	Global Challenges	2	経営学の実践	組織論	2		
		American Studies	2		イノベーション・マネジメント	2		
		Speech and Discussion	2		経営財務分析	2		
		Discussion and Debate	2		戦略論	2		
		CUBE English I	1		会計基礎	2		
		CUBE English II	1		会計応用	2		
		Japan Studies	1		ファイナンス基礎	2		
		European Studies	1		コーポレートファイナンス	2		
		Business Communication	1		マーケティング基礎	2		
		Introduction to TOEIC	1		マーケティングとCSR	2		
		大学日本語入門Ⅰ	2	マーケティングリサーチ	2			
		大学日本語入門Ⅱ	2	消費者行動	2			
				NPO	2			
				中小企業経営	2			
外国語科目	Applied科目	Media Studies	2	実践・創造科目	社会の現状認識	社会問題と思想	2	
		English for Business Contexts	2			社会問題と制度	2	
		Studies in Literacy	2			都市政策	2	
		Cross-Disciplinary Studies	2			社会保障	2	
		English as a Second Language I	2			少子化と人口問題	2	
		English as a Second Language II	2			国際関係と多文化共生	2	
	English as a Second Language III	2	国際通商			2		
			Academic Foundations Workshop I			2	ビジネスと法	2
			Academic Foundations Workshop II			2	Academic Subjects I	3
			Academic Success Workshop I			2	Academic Subjects II	3
		Academic Success Workshop II	2	Academic Subjects III	3			
				Academic Subjects IV	3			
				Academic Subjects V	3			
				Academic Subjects VI	3			

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考				
プロジェクト導入科目	数学的論理思考	2	6単位以上選択必修	フィールドワーク科目	国内短期フィールドワークⅠ	2				
	芸術と多文化理解	2			国内短期フィールドワークⅡ	2				
	科学技術と倫理Ⅰ	2			国内短期フィールドワークⅢ	2				
	科学技術と倫理Ⅱ	2			国内短期フィールドワークⅣ	2				
	ITの実践	2			国内短期フィールドワークⅤ	2				
	情報の科学	2			国内中期フィールドワークⅠ	3				
	データ分析の実践	2			国内中期フィールドワークⅡ	3				
	データ分析とプログラミング	2			国内中期フィールドワークⅢ	3				
	社会調査	2			国内長期フィールドワークⅠ	4				
	政策評価の手法	2			海外短期フィールドワークⅠ	2				
	英語で学ぶ経済学	2			海外短期フィールドワークⅡ	2				
	英語で学ぶ経営学	2			海外中期フィールドワークⅠ	3				
	Liberal Studies in English	2			海外中期フィールドワークⅡ	3				
	Regional Studies	2			海外中期フィールドワークⅢ	3				
プロジェクト科目	パブリック研究プロジェクトBⅠ	6	12単位以上選択必修。ただし、3科目以上修得すること。	キャリア関連科目	卒業研究プロジェクト	8	8単位必修			
	パブリック研究プロジェクトBⅡ	6			ボランティア体験Ⅰ	4				
	パブリック研究プロジェクトBⅢ	6			ボランティア体験Ⅱ	4				
	パブリック研究プロジェクトBⅣ	6			ボランティア体験Ⅲ	2				
	パブリック研究プロジェクトBⅤ	6			ボランティア体験Ⅳ	2				
	ビジネス研究プロジェクトBⅠ	6			グローバル研究プロジェクトBⅠ	CUBE ジョブトライアルⅠ	4			
	ビジネス研究プロジェクトBⅡ	6				グローバル研究プロジェクトBⅡ	6		CUBE ジョブトライアルⅡ	4
	ビジネス研究プロジェクトBⅢ	6				グローバル研究プロジェクトBⅢ	6		CUBE ジョブトライアルⅢ	2
	ビジネス研究プロジェクトBⅣ	6				グローバル研究プロジェクトBⅣ	6		CUBE ジョブトライアルⅣ	2
	ビジネス研究プロジェクトBⅤ	6				グローバル研究プロジェクトBⅤ	6		コミュニケーション支援Ⅰ	2
研究プロジェクト科目	超領域研究プロジェクトBⅠ	6	30単位以上選択必修	特設科目	特設科目Ⅰ	2				
	超領域研究プロジェクトBⅡ	6			特設科目Ⅱ	2				
	超領域研究プロジェクトBⅢ	6			特設科目Ⅲ	2				
	パブリック研究プロジェクトAⅠ	4			大学日本語中級Ⅰ	4				
	パブリック研究プロジェクトAⅡ	4			大学日本語上級Ⅰ	4				
	パブリック研究プロジェクトAⅢ	4			外国語科目 中級・上級					
	パブリック研究プロジェクトAⅣ	4								
	パブリック研究プロジェクトAⅤ	4								
	ビジネス研究プロジェクトAⅠ	4								
	ビジネス研究プロジェクトAⅡ	4								
ビジネス研究プロジェクトAⅢ	4									
ビジネス研究プロジェクトAⅣ	4									
ビジネス研究プロジェクトAⅤ	4									
グローバル研究プロジェクトAⅠ	4									
グローバル研究プロジェクトAⅡ	4									
グローバル研究プロジェクトAⅢ	4									
グローバル研究プロジェクトAⅣ	4									
グローバル研究プロジェクトAⅤ	4									
超領域研究プロジェクトAⅠ	4									
超領域研究プロジェクトAⅡ	4									
超領域研究プロジェクトAⅢ	4									

#### 卒業必要単位数

1 マネジメント創造学部マネジメント創造学科の学生は、次に定めるところに従って合計124単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	114単位以上

---

計 124単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

- (1) キャリア創生共通科目については、8単位以内
- (2) 生涯スポーツについては、3単位以内
- (3) 基礎ドイツ語、基礎フランス語、基礎中国語、基礎韓国語については、いずれか1外国語4単位以内
- (4) 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換協定に関する科目については、4単位以内

3 大学日本語科目（大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ、大学日本語上級Ⅰ）は、外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

別表第2の(4)

フロンティアサイエンス学部

生命化学科

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考									
必修科目	教養科目	フロントランナー講座	2	32単位必修	キャリア科目	ベーシック・キャリアデザイン	2	選択必修科目の単位数に充てることができる。							
	基礎科目	科学英語コミュニケーション1	1			理系キャリアデザイン	2								
		科学英語コミュニケーション2	1			キャリア実習	2								
		プレゼンテーション演習1	1		応用専門科目	メディカルサイエンス概論	2	先進科学コース選択者は14単位以上、学際科学コース選択者は8単位以上選択必修							
		プレゼンテーション演習2	1			メディカルバイオテクノロジー	2								
		数学及び演習	3			バイオ・食品関連研究開発論	2								
		日本語表現及び演習	3			知財マネジメント	2								
		基礎専門科目	バイオサイエンス序論			2	バイオセンシングと環境		2						
	ナノサイエンス序論		2			アドバンストマテリアル	2								
	ナノバイオサイエンス序論		2			国際産学コーディネーター	2								
	ケミカルサイエンス序論		2		創薬テクノロジー	2									
	専門科目	ナノバイオラボベーシックA	2		ケミカルバイオロジー	2	教養科目		科学と健康	2					
		ナノバイオラボベーシックB	2		先端ナノ・マイクロ材料科学	2			科学と産業政策	2					
		ナノバイオラボ1A	4		医療関連研究開発論	2	先進科学コース必修科目		基礎科目	科学英語プレゼンテーション演習1	1	先進科学コース選択者は32単位必修			
		ナノバイオラボ1B	4		エリアスタディーズV	2				科学英語プレゼンテーション演習2	1				
選択必修科目A群	A1：バイオサイエンスパック			先進科学コース選択者は24単位以上(ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること。)、学際科学コース選択者は12単位以上(ただし、すべてのパックから2単位以上ずつ修得すること。)選択必修。	専門科目	ナノバイオラボ2A				6					
	ベーシック科目	分子生物学	2			ナノバイオラボ2B				6					
		遺伝子工学・バイオテクノロジー	2		ナノバイオ卒業研究	15									
		生命機能科学	2		学際科学コース必修科目	基礎科目		学際科学プレゼンテーション演習1	1	学際科学コース選択者は14単位必修					
		細胞工学	2					学際科学プレゼンテーション演習2	1						
	アドバンスト科目	薬理学	2			専門科目		共通応用演習Ⅰ	2						
		発生学	2					共通応用演習Ⅱ	2						
	A2：ナノサイエンスパック				学際科学コース必修科目	基礎科目		文理融合総合研究	8						
	ベーシック科目	無機化学	2					学際科学コース必修科目	専門科目	学際科学コース必修科目					
		量子物理化学	2												
		固体光化学	2												
		ナノテクノロジー	2												
アドバンスト科目	電気化学	2	学際科学コース必修科目	基礎科目		学際科学コース必修科目									
	生物無機化学	2													
A3：ナノバイオサイエンスパック				学際科学コース必修科目			基礎科目		学際科学コース必修科目						
ベーシック科目	生化学	2									学際科学コース必修科目	専門科目	学際科学コース必修科目		
	生命分析化学	2													
	生命物理化学	2													
	バイオ計測工学	2													
アドバンスト科目	高分子化学	2			学際科学コース必修科目		基礎科目					学際科学コース必修科目			
	生体分子工学	2													
A4：ケミカルサイエンスパック							学際科学コース必修科目	基礎科目		学際科学コース必修科目					
ベーシック科目	構造有機化学	2												学際科学コース必修科目	専門科目
	有機電子論	2													
	有機反応各論	2													
	有機化学と分光法	2													
アドバンスト科目	生物有機化学	2	学際科学コース必修科目	基礎科目		学際科学コース必修科目									
	有機合成化学	2													

## 卒業必要単位数

1 フロンティアサイエンス学部生命化学科の学生は、次に定めるところに従って合計 128 単位以上を修得しなければならない。

基礎共通科目	10 単位
外国語科目	4 単位
保健体育科目	2 単位
専門教育科目	
先進科学コース	102 単位以上
学際科学コース	66 単位以上

---

計 128 単位以上

- 2 先進科学コース・学際科学コースの必修科目、選択必修科目の必要単位数については、次の①～④に従うものとする。
- ① 先進科学コース選択者は、必修科目 32 単位、選択必修 A 群 24 単位以上（ただし、いずれか 1 パックについてはすべて修得すること。）、選択必修 B 群 14 単位以上、先進科学コース必修単位 32 単位、修得すること。
  - ② 学際科学コース選択者は、必修科目 32 単位、選択必修 A 群 12 単位以上（ただし、すべてのパックから 2 単位以上ずつ修得すること。）、選択必修 B 群 8 単位以上、学際科学コース必修単位 14 単位、修得すること。
  - ③ 学際科学コース選択者は、キャリア創生共通科目から 20 単位以上、修得すること
  - ④ 学際科学コース選択者は、中級英語 Speaking、中級英語 Presentation、中級英語 Writing、中級英語 Pronunciation、中級英語 Global Topics I、中級英語 Global Topics II、中級英語 Life Topics I、中級英語 Life Topics II の中から 4 単位以上、修得すること。
- 3 次の科目については、専門教育科目として卒業単位に充てることができる。ただし、必修又は選択必修科目のいずれの単位数にも充てることができない。
- (1) 基礎共通科目のうち自然科学系の授業科目及びキャリア創生共通科目（「ベーシック・キャリアデザイン」、「キャリア実習」、「エリアスタディーズV」は除く。）
  - (2) 基礎ドイツ語、基礎フランス語、基礎中国語、基礎韓国語、大学日本語入門については、いずれか 1 外国語 4 単位以内。
  - (3) 「エリアスタディーズ I～IV」及び「エリアスタディーズVI～X」については、2 単位以内。
  - (4) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目については、学際科学コース選択者は 16 単位以内。

別表第2の(5)

グローバル教養学環

科目		単位数	備考	科目	単位数	備考		
必修科目	STAGE 演習	STAGE演習ⅠA	2	20単位必修	留学支援	TOEFLⅠ	2	
		STAGE演習ⅠB	2			TOEFLⅡ	2	
		STAGE演習ⅡA	2			IELTSⅠ	2	
		STAGE演習ⅡB	2			IELTSⅡ	2	
		STAGE演習ⅢA	2			海外語学講座Ⅰ	4	
		STAGE演習ⅢB	2			海外語学講座Ⅱ	4	
		STAGE演習 Capstone	8			海外語学講座Ⅲ	2	
						海外語学講座Ⅳ	2	
		外国留学科目Ⅰ	4					
		外国留学科目Ⅱ	4					
		外国留学科目Ⅲ	4					
		外国留学科目Ⅳ	4					
	中級英語 ②	中級英語 Listening	4	国際理解・グローバル科目	A群	国際理解Ⅰ(異文化理解)	2	6単位以上選択必修
		中級英語 Reading	4			国際理解Ⅱ(国際問題)	2	
		中級英語 Pronunciation	2			SDGs 概論	2	
		中級英語 TOEIC	4			グローバルイノベーションⅠ	2	
		中級英語 Life TopicsⅠ	2			グローバルイノベーションⅡ	2	
		中級英語 Life TopicsⅡ	2					
		中級英語 Career EnglishⅠ	2					
		中級英語 Career EnglishⅡ	2					
	上級英語	上級英語 TOEIC	4		B群	世界の中の日本Ⅰ	2	14単位以上選択必修
		上級英語 Global TopicsⅠ	2			世界の中の日本Ⅱ	2	
		上級英語 Global TopicsⅡ	2			English RegionsⅠ	2	
		上級英語 Global TopicsⅢ	2			English RegionsⅡ	2	
		上級英語 Career EnglishⅠ	2			English RegionsⅢ	2	
		上級英語 Career EnglishⅡ	2			English RegionsⅣ	2	
		上級英語 Life TopicsⅠ	2			German StudiesⅠ	2	
		上級英語 Life TopicsⅡ	2			German StudiesⅡ	2	
	ドイツ語	中級ドイツ語Ⅰ	4		German StudiesⅢ	2		
		中級ドイツ語Ⅱ	4		German StudiesⅣ	2		
		中級ドイツ語Ⅲ	4		French StudiesⅠ	2		
		中級ドイツ語Ⅳ	4		French StudiesⅡ	2		
		上級ドイツ語Ⅰ	4		French StudiesⅢ	2		
		上級ドイツ語Ⅱ	4		French StudiesⅣ	2		
	フランス語	中級フランス語Ⅰ	4		Chinese StudiesⅠ	2		
		中級フランス語Ⅱ	4		Chinese StudiesⅡ	2		
		中級フランス語Ⅲ	4		Chinese StudiesⅢ	2		
		中級フランス語Ⅳ	4		Chinese StudiesⅣ	2		
		上級フランス語Ⅰ	4		Korean StudiesⅠ	2		
		上級フランス語Ⅱ	4		Korean StudiesⅡ	2		
中国語	中級中国語Ⅰ	4	Korean StudiesⅢ	2				
	中級中国語Ⅱ	4	Korean StudiesⅣ	2				
	中級中国語Ⅲ	4	社会学概論	2				
	中級中国語Ⅳ	4	多文化共生論	2				
	上級中国語Ⅰ	4	文化人類学	2				
	上級中国語Ⅱ	4	社会人間学	2				
韓国語	中級韓国語Ⅰ	4	社会心理学	2				
	中級韓国語Ⅱ	4	グローバルイノベーションⅠ	2				
	中級韓国語Ⅲ	4	グローバルイノベーションⅡ	2				
	中級韓国語Ⅳ	4	アメリカン・スタディーズⅠ	2				
	上級韓国語Ⅰ	4	アメリカン・スタディーズⅡ	2				
	上級韓国語Ⅱ	4	社会問題と思想	2				
		社会問題と制度	2					
		グローバル研究プロジェクトA	4					
		グローバル研究プロジェクトB	6					



別表第3

教科及び教職に関する科目（教科に関する専門的事項の科目を除く。）

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
教 育 原 論	2	理 科 教 育 法 III	2
教 職 入 門	2	理 科 教 育 法 IV	2
教 育 社 会 行 政 論	2	数 学 科 教 育 法 I	2
教 育 心 理	2	数 学 科 教 育 法 II	2
特 別 支 援 教 育 論	2	数 学 科 教 育 法 III	2
教 育 課 程 論	2	数 学 科 教 育 法 IV	2
道 徳 指 導 法	2	情 報 科 教 育 法 I	2
特別活動・総合的な学習の時間指導法	2	情 報 科 教 育 法 II	2
教育の方法・技術（ICTの活用含む）	2	教 育 史	2
生徒指導法（進路指導含む）	2	人 権 教 育 論	2
教 育 相 談	2	学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2
教 育 実 習 I	5	学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2
教 育 実 習 II	3	学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2
教職実践演習（中・高）	2	読 書 と 豊 かな 人 間 性	2
国 語 科 教 育 法 基 礎 I	2	情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2
国 語 科 教 育 法 基 礎 II	2		
国 語 科 教 育 法 I	2		
国 語 科 教 育 法 II	2		
英 語 科 教 育 法 基 礎 I	2		
英 語 科 教 育 法 基 礎 II	2		
英 語 科 教 育 法 I	2		
英 語 科 教 育 法 II	2		
社 会 科 ・ 地 歴 科 教 育 法 I	2		
社 会 科 ・ 地 歴 科 教 育 法 II	2		
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法 I	2		
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法 II	2		
商 業 科 教 育 法 I	2		
商 業 科 教 育 法 II	2		
理 科 教 育 法 I	2		
理 科 教 育 法 II	2		

別表第4の(1)

図書館学に関する専門教育科目

図書館司書

群	授 業 科 目	単位数	備 考
A群	生涯学習概説	2	12科目 24単位 必修
	図書館概論	2	
	情報図書館学	2	
	図書館行政学	2	
	図書館サービス概論	2	
	情報サービス論	2	
	児童サービス論	2	
	情報サービス演習	2	
	図書館情報メディア論	2	
	資料情報組織法	2	
	資料情報組織演習	2	
図書館情報学研究	2		
B群	コミュニケーション論	2	4単位以上 選択必修
	社会調査法	2	
	情報社会論	2	
	知的財産法II	2	

学校図書館司書教諭

授 業 科 目	単位数	備 考
学校経営と学校図書館	2	5科目 10単位 必修
学校図書館メディアの構成	2	
学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	
情報メディアの活用	2	

別表第4の(2)

博物館学に関する専門教育科目

博物館学芸員

授 業 科 目		単位数	備 考
	生涯学習概論	2	11科目必修 19単位
	博物館概論	2	
	博物館経営論	2	
	博物館資料論	2	
	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	2	
	博物館教育論	2	
	博物館情報・メディア論	2	
	博物館実習Ⅰ	1	
	博物館実習Ⅱ	1	
	博物館実習Ⅲ	1	
A	日本史概説Ⅰ	2	2群以上 8単位以上 選択必修
	日本史概説Ⅱ	2	
	アジア史概説Ⅰ	2	
	アジア史概説Ⅱ	2	
	西洋史概説Ⅰ	2	
	西洋史概説Ⅱ	2	
	考古学Ⅰ	2	
	考古学Ⅱ	2	
	民俗学の諸問題Ⅰ	2	
	民俗学の諸問題Ⅱ	2	
B	歴史と美術史	2	
	西洋美術史	2	
	日本美術史	2	
	芸術社会学研究	2	
	モダンアート研究	2	
C	環境学入門	2	
	環境学	2	
	人間環境論Ⅰ	2	
	人間環境論Ⅱ	2	
	環境教育の実践	2	
	地理学通論Ⅰ	2	
地理学通論Ⅱ	2		
D	環境生物学	2	
	生態学	2	
	生物学臨海実習	2	
E	物理学通論Ⅰ	2	
	物理学通論Ⅱ	2	
	物理学Ⅰ	2	
	物理学Ⅱ	2	

別表第4の(3)

公認心理師に関する専門教育科目

科目群	分野	授業科目		単位数	備考	
心理学基礎科目	心理学基礎科目	必修	公認心理師の職責	2	A群	
			心理学概論	2	B群	
			臨床心理学概論	2	B群	
			心理学研究法	2	B群	
			心理学統計法	2	B群	
		選択必修	心理学実験	2	A群	
			心理学実験実習	2	B群	
心理学発展科目	基礎心理学	必修	知覚・認知心理学	2	B群	
			学習・言語心理学	2	B群	
			感情・人格心理学	2	C群	
			神経・生理心理学	2	B群	
			社会・集団・家族心理学	2	B群	
			発達心理学	2	B群	
			障害者・障害児心理学	2	B群	
			心理的アセスメント	2	B群	
			心理学的支援法	2	A群	
			実践心理学	健康・医療心理学	2	B群
	福祉心理学			2	B群	
	教育・学校心理学			2	B群	
	司法・犯罪心理学			2	B群	
	産業・組織心理学			2	A群	
	心理学 関連科目			人体の構造と機能及び疾病	2	C群
				精神疾患とその治療	2	B群
	関係行政論		2	A群		
科目 実習演習	科目 実習演習	必修	心理演習	2	A群	
			心理実習	2	A群	
演習科目	演習科目	選択	公認心理セミナーⅠ	2	A群	
			公認心理セミナーⅡ	2	A群	
心理学基礎科目の必修科目10単位、選択必修2単位以上、心理学発展科目の必修科目34単位、 実習演習科目の必修科目4単位、計25科目50単位以上を修得すること。						

別表第5

(単位 円)

種 別	金 額	
入 学 受 験 料	大学入学共通テスト利用型入学試験(前期日程)(後期日程) 15,000	
	一般選抜入学試験(前期日程)2教科判定方式、一般選抜入学試験(前期日程)外部英語試験活用型[併願]、一般選抜入学試験(中期日程)外部英語試験活用型[併願]、大学入学共通テスト併用型入学試験(前期日程)(中期日程)、公募制推薦入学試験【教科科目型】[併願]、公募制推薦入学試験【外部英語試験活用型】[併願] 5,000	
	公募制推薦入学試験【個性重視型】【探究活動評価型】【女子特別推薦型】	第1次選考 10,000 第2次選考 25,000
	上記以外の入学試験	35,000
科目等履修生検定料	10,000	
研 究 生 申 請 料	1,000	
聴 講 生 検 定 料	5,000	

別表第6

(単位 円)

入 学 金	250,000
-------	---------

別表第7の(1)

授業料

(単位 円)

学 部	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
文学部	936,000	1,151,000	1,151,000	1,151,000
経済学部・法学部・経営学部	936,000	1,111,000	1,111,000	1,111,000
理工学部・知能情報学部	1,321,000	1,570,000	1,570,000	1,570,000
マネジメント創造学部	972,000	1,221,000	1,221,000	1,221,000
フロンティアサイエンス学部	1,496,000	1,746,000	1,746,000	1,746,000
グローバル教養学環	972,000	1,221,000	1,221,000	1,221,000

在学期間中毎年徴収する。

研究資料費

(単位 円)

文学部人間科学科	金 額
	1 年次
	10,000

別表第7の(2)

実験費

(単位 円)

「ラボラトリー・フィジックス」	
「基礎化学実験」「基礎生物学実験」	
1科目	20,000
2科目	35,000
3科目	50,000
「基礎物理学実験」	15,000
「物理学実験1」	20,000
「物理学実験2」	20,000
「物理学実験3」	40,000
「生物学専門実験及び演習Ⅰ」	15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅱ」	15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅲ」	15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅳ」	15,000
「物質化学実験A」	20,000
「物質化学実験B」	20,000
「物質化学実験C」	20,000
「物理学卒業研究」	60,000
「生物学卒業実験」	60,000
「物質化学卒業研究」	60,000
「環境・エネルギー工学卒業研究」	60,000
「科学実験基礎」	10,000
「ラボラトリー・ケミストリー」	20,000
「環境・エネルギー工学実験1」	20,000
「環境・エネルギー工学実験2」	20,000
「環境・エネルギー工学実験3」	20,000
「地学実験」	20,000

別表第7の(3)

実習費

(単位 円)

「物質化学卒業演習及び実習」	30,000
「コース演習：知能ロボット」	5,000
「コース演習：メディアデザイン」	3,000
「コース演習：ヒューマンセンシング」	3,000
「プロジェクト演習」	10,000
「知能情報セミナーⅠ」	5,000
「知能情報セミナーⅡ」	10,000
「卒業研究及び演習」	30,000
教育実習Ⅰ（3週間）	16,000
教育実習Ⅱ（2週間）	11,000
博物館実習Ⅰ	3,000
博物館実習Ⅱ	5,000
博物館実習Ⅲ	5,000
生物学臨海実習	30,000
心理実習	25,000

別表第7の(4)

在籍料

(単位 円)

前 期	75,000
後 期	75,000
通 年	150,000

別表第7の(5)

(単位 円)

種 別	金 額
科目等履修料	1単位 10,000
研究生登録料	50,000

聴講料	1単位 5,000
-----	-----------

※研究生登録料は、別途消費税を加えた額を徴収する。

**別表第7の(6)**

学修在籍料

(単位 円)

通年	300,000
----	---------

変更事項を記載した書類（変更の事由及び変更点）

1. 理工学部宇宙理学・量子物理工学科、物質化学科及び環境・エネルギー工学科を設置することに伴い、人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標、収容定員、学位、授業科目、その他必要な事項を定める。
2. この学則は、令和8年4月1日から施行する。

改正案	現 行																																																	
○甲南大学学則	○甲南大学学則																																																	
昭和26年3月15日 認可	昭和26年3月15日 認可																																																	
改正 昭和27年2月20日   省略 (現行どおり)	改正 昭和27年2月20日   省略																																																	
令和7年2月28日 <u>令和7年3月28日</u>	令和7年2月28日																																																	
第1章 総則	第1章 総則																																																	
第1条 本大学は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に則り、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的とする。	第1条 本大学は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に則り、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的とする。																																																	
第2章 組織	第2章 組織																																																	
第2条 本大学は、学部及び大学院よりなる。	第2条 本大学は、学部及び大学院よりなる。																																																	
第3条 本大学に次の学部・学科を置く。	第3条 本大学に次の学部・学科を置く。																																																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学部</th> <th style="text-align: center;">学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">文学部</td> <td>日本語日本文学科</td> </tr> <tr> <td>英語英米文学科</td> </tr> <tr> <td>社会学科</td> </tr> <tr> <td>人間科学科</td> </tr> <tr> <td>歴史文化学科</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">理工学部</td> <td><u>宇宙理学・量子物理工学科</u></td> </tr> <tr> <td>生物学科</td> </tr> <tr> <td><u>物質化学科</u></td> </tr> <tr> <td><u>環境・エネルギー工学科</u></td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>法学科</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>経営学科</td> </tr> <tr> <td>知能情報学部</td> <td>知能情報学科</td> </tr> <tr> <td>マネジメント創造学部</td> <td>マネジメント創造学科</td> </tr> <tr> <td>フロンティアサイエンス学部</td> <td>生命化学科</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	文学部	日本語日本文学科	英語英米文学科	社会学科	人間科学科	歴史文化学科	理工学部	<u>宇宙理学・量子物理工学科</u>	生物学科	<u>物質化学科</u>	<u>環境・エネルギー工学科</u>	経済学部	経済学科	法学部	法学科	経営学部	経営学科	知能情報学部	知能情報学科	マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	フロンティアサイエンス学部	生命化学科	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学部</th> <th style="text-align: center;">学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">文学部</td> <td>日本語日本文学科</td> </tr> <tr> <td>英語英米文学科</td> </tr> <tr> <td>社会学科</td> </tr> <tr> <td>人間科学科</td> </tr> <tr> <td>歴史文化学科</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">理工学部</td> <td><u>物理学科</u></td> </tr> <tr> <td>生物学科</td> </tr> <tr> <td><u>機能分子化学科</u></td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>法学科</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>経営学科</td> </tr> <tr> <td>知能情報学部</td> <td>知能情報学科</td> </tr> <tr> <td>マネジメント創造学部</td> <td>マネジメント創造学科</td> </tr> <tr> <td>フロンティアサイエンス学部</td> <td>生命化学科</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	文学部	日本語日本文学科	英語英米文学科	社会学科	人間科学科	歴史文化学科	理工学部	<u>物理学科</u>	生物学科	<u>機能分子化学科</u>	経済学部	経済学科	法学部	法学科	経営学部	経営学科	知能情報学部	知能情報学科	マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	フロンティアサイエンス学部	生命化学科
学部	学科																																																	
文学部	日本語日本文学科																																																	
	英語英米文学科																																																	
	社会学科																																																	
	人間科学科																																																	
	歴史文化学科																																																	
理工学部	<u>宇宙理学・量子物理工学科</u>																																																	
	生物学科																																																	
	<u>物質化学科</u>																																																	
	<u>環境・エネルギー工学科</u>																																																	
経済学部	経済学科																																																	
法学部	法学科																																																	
経営学部	経営学科																																																	
知能情報学部	知能情報学科																																																	
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科																																																	
フロンティアサイエンス学部	生命化学科																																																	
学部	学科																																																	
文学部	日本語日本文学科																																																	
	英語英米文学科																																																	
	社会学科																																																	
	人間科学科																																																	
	歴史文化学科																																																	
理工学部	<u>物理学科</u>																																																	
	生物学科																																																	
	<u>機能分子化学科</u>																																																	
経済学部	経済学科																																																	
法学部	法学科																																																	
経営学部	経営学科																																																	
知能情報学部	知能情報学科																																																	
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科																																																	
フロンティアサイエンス学部	生命化学科																																																	
2 本大学に大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）に定める学部等連係課程実施基本組織として次の学環を置く。	2 本大学に大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）に定める学部等連係課程実施基本組織として次の学環を置く。																																																	
学環	学環																																																	
グローバル教養学環	グローバル教養学環																																																	
第3条の2 各学部・学科及び学環における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は次のとおりとする。	第3条の2 各学部・学科及び学環における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は次のとおりとする。																																																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学部</th> <th style="text-align: center;">学科</th> <th style="text-align: center;">学環</th> <th style="text-align: center;">人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文学部</td> <td></td> <td></td> <td>幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	学環	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標	文学部			幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学部</th> <th style="text-align: center;">学科</th> <th style="text-align: center;">学環</th> <th style="text-align: center;">人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文学部</td> <td></td> <td></td> <td>幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	学環	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標	文学部			幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々																																	
学部	学科	学環	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標																																															
文学部			幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々																																															
学部	学科	学環	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標																																															
文学部			幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々																																															

		な活動に発生する問題を主体的に解決できる人材を社会に送り出す。
	日本語日文学科	古典・近現代文学・日本語学・日本語教育学等のバランスの取れた教育・研究を通して、社会での活動の基盤である日本語の理解力・表現力を鍛えることを目標とする。
	英語英米文学科	実践的語学教育と並行して英語学及び英米の文化・文学の教育を行い、英語圏文化の深い理解に裏打ちされた英語運用能力を持つ人材を育成し、国際化する社会の要請に応える。
	社会学科	情報化、国際化の進展によつて急速に変化し、多様性や不確実性が高まっている社会の中で必要とされる「自ら調査・分析・表現・発信する実証的・実践的な態度と能力」を涵養する。
	人間科学科	心理学、哲学、芸術学の知を関連づけながら、理論と実践の両面から「人間とは何か」を探究することにより、社会の諸問題を多角的に捉え、柔軟に問題解決できる人材育成を目指す。
	歴史文化学科	人類がこれまで蓄積してきた有形・無形の文化遺産及び歴史の中における生活の場としての環境と人類との交流について歴史学、地理学・民俗学の分野から探求し、これら各分野を横断する総合的立場から教育を行う。
理工学部		自然科学の強固な学問的土台を身につけて、純粋理学と応用科学を融合させることのできる能力を養い、時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して創造性を発揮できる人材の育成を目指す。
	<u>宇宙理学・量子物 理工学科</u>	時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して、問題の解決に果敢に挑み、創造性を発揮し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的とし、物理学の基本的な知識及び論理的思考法・手法を講義と実験・実習科目による相補的な積み上げ方式によって修得させ、卒業研究を通して総合的な問題解決能力を養う。
	生物学科	今日の社会が直面する生命や環境等に関わる諸問題を正しく理解し、それらの解決に貢献できる国際的視野を持った人材の養成を目的とし、そのために必要な現代生物学の専門知識と技術及びそれらを十分に活用するための思考力を修得させる。
	<u>物質化学科</u>	科学技術に携わる者に求められる責任感と倫理観を有し、化学の専門知識並びに自然科学に対する柔軟な思考力を身につけた人材の養成を目的とし、化学の基礎的な知識・豊富な経験に基づく課題設定能力・解決能力を得て、現代社会の要請に応えることのできる能力を獲得させる。
	<u>環境・エネルギー 工学科</u>	<u>現代社会が抱える種々の課題の中でも、環境・資源・エネルギーに係わる課題に取り組むうえで必要な化学・物理学・地学の基礎知識、ならびに環境・エネルギー工学に関する専門知識を身につけた人材の養成を目的とし、環境・エネルギー工学分野での課題設定能力・問題解決能力を修得して、実社会の養成に応えることのできる能力を獲得させる。</u>
経済学部	経済学科	経済学の学習を通じて、変化の激しい経済社会で充実した活動ができる知性と創造力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済・社会問題を的確に捉える能力、筋道を立てて問題を考える能力、自らの力で解決策を示す能力を求める。
法学部	法学科	法曹・行政・経済をはじめ社会の様々な分野で指導的な役割を担うことができる人材を養成するため、学生の個性尊重を旨として、法及び政治に関する専門知識の修得と思考力の涵養を通じて、個々の学生の論理的な思考力と柔

		な活動に発生する問題を主体的に解決できる人材を社会に送り出す。
	日本語日文学科	古典・近現代文学・日本語学・日本語教育学等のバランスの取れた教育・研究を通して、社会での活動の基盤である日本語の理解力・表現力を鍛えることを目標とする。
	英語英米文学科	実践的語学教育と並行して英語学及び英米の文化・文学の教育を行い、英語圏文化の深い理解に裏打ちされた英語運用能力を持つ人材を育成し、国際化する社会の要請に応える。
	社会学科	情報化、国際化の進展によつて急速に変化し、多様性や不確実性が高まっている社会の中で必要とされる「自ら調査・分析・表現・発信する実証的・実践的な態度と能力」を涵養する。
	人間科学科	心理学、哲学、芸術学の知を関連づけながら、理論と実践の両面から「人間とは何か」を探究することにより、社会の諸問題を多角的に捉え、柔軟に問題解決できる人材育成を目指す。
	歴史文化学科	人類がこれまで蓄積してきた有形・無形の文化遺産及び歴史の中における生活の場としての環境と人類との交流について歴史学、地理学・民俗学の分野から探求し、これら各分野を横断する総合的立場から教育を行う。
理工学部		自然科学の強固な学問的土台を身につけて、純粋理学と応用科学を融合させることのできる能力を養い、時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して創造性を発揮できる人材の育成を目指す。
	<u>物理学科</u>	時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して、問題の解決に果敢に挑み、創造性を発揮し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的とし、物理学の基本的な知識及び論理的思考法・手法を講義と実験・実習科目による相補的な積み上げ方式によって修得させ、卒業研究を通して総合的な問題解決能力を養う。
	生物学科	今日の社会が直面する生命や環境等に関わる諸問題を正しく理解し、それらの解決に貢献できる国際的視野を持った人材の養成を目的とし、そのために必要な現代生物学の専門知識と技術及びそれらを十分に活用するための思考力を修得させる。
	<u>機能分子化学科</u>	科学技術に携わる者に求められる責任感と倫理観を有し、化学の専門知識並びに自然科学に対する柔軟な思考力を身につけた人材の養成を目的とし、化学の基礎的な知識・豊富な経験に基づく課題設定能力・解決能力を得て、現代社会の要請に応えることのできる能力を獲得させる。
経済学部	経済学科	経済学の学習を通じて、変化の激しい経済社会で充実した活動ができる知性と創造力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済・社会問題を的確に捉える能力、筋道を立てて問題を考える能力、自らの力で解決策を示す能力を求める。
法学部	法学科	法曹・行政・経済をはじめ社会の様々な分野で指導的な役割を担うことができる人材を養成するため、学生の個性尊重を旨として、法及び政治に関する専門知識の修得と思考力の涵養を通じて、個々の学生の論理的な思考力と柔

		軟な応用力を培うことを教育目標とする。
経営学部	経営学科	ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織（企業）の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を有し、社会に資するビジネスパーソンの養成を目的とする。このために学生が修得すべき能力として、次の各能力を求める。 (1) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力 (2) 各種スキルと論理的思考力に支えられた経営問題の発見・説明・解決力 (3) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行力及び倫理的責任力 (4) トータルな人間性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力
知能情報学部	知能情報学科	人間力をベースに、感性・知性で高度国際情報社会におけるリーダーシップがとれる人材の育成を目指す。そのため、数学的基礎学力、知能情報学における専門知識、効果的な発表能力並びにコミュニケーション能力の修得を目標とする。
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	自ら学ぶ力を涵養し、営利、非営利、パブリックなどいずれの分野にあつても、社会的責任を創造的に果たしていくマネジメント能力を開発し、世界に貢献しうる人物育成を目指す。
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、社会の発展、福祉の増進のためとくに生命化学分野におけるフロンティア開発に資する人材を養成する。
グローバル教養学環		多様な文化と言語背景を持つ人々と関わり効果的に協働することを可能にする複数言語の運用能力、異文化間の価値観の異なりや多様性に起因する問題に対する異文化間調整能力、AI・データサイエンス、ICTの活用などを含めた文理横断的な知識と技能、課題解決のための企画立案・提案力を備え、グローバル社会又は地域社会の持続的発展に貢献することのできるグローバル人材の育成を目指す。

第4条 学部及び学環における学生の収容定員は、次のとおりとする。

学部及び学環	学科	入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	70	280
	英語英米文学科	90	360
	社会学科	90	360
	人間科学科	95	380
	歴史文化学科	60	240
	計	405	1,620
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科	45	180
	生物学科	45	180
	物質化学科	45	180
	環境・エネルギー工学科	40	160
	計	175	700
経済学部	経済学科	335	1,340
	計	335	1,340
法学部	法学科	330	1,320

		軟な応用力を培うことを教育目標とする。
経営学部	経営学科	ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織（企業）の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を有し、社会に資するビジネスパーソンの養成を目的とする。このために学生が修得すべき能力として、次の各能力を求める。 (1) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力 (2) 各種スキルと論理的思考力に支えられた経営問題の発見・説明・解決力 (3) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行力及び倫理的責任力 (4) トータルな人間性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力
知能情報学部	知能情報学科	人間力をベースに、感性・知性で高度国際情報社会におけるリーダーシップがとれる人材の育成を目指す。そのため、数学的基礎学力、知能情報学における専門知識、効果的な発表能力並びにコミュニケーション能力の修得を目標とする。
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	自ら学ぶ力を涵養し、営利、非営利、パブリックなどいずれの分野にあつても、社会的責任を創造的に果たしていくマネジメント能力を開発し、世界に貢献しうる人物育成を目指す。
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、社会の発展、福祉の増進のためとくに生命化学分野におけるフロンティア開発に資する人材を養成する。
グローバル教養学環		多様な文化と言語背景を持つ人々と関わり効果的に協働することを可能にする複数言語の運用能力、異文化間の価値観の異なりや多様性に起因する問題に対する異文化間調整能力、AI・データサイエンス、ICTの活用などを含めた文理横断的な知識と技能、課題解決のための企画立案・提案力を備え、グローバル社会又は地域社会の持続的発展に貢献することのできるグローバル人材の育成を目指す。

第4条 学部及び学環における学生の収容定員は、次のとおりとする。

学部及び学環	学科	入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	70	280
	英語英米文学科	90	360
	社会学科	90	360
	人間科学科	95	380
	歴史文化学科	60	240
	計	405	1,620
理工学部	物理学科	50	200
	生物学科	45	180
	機能分子化学科	60	240
	計	155	620
	経済学部	経済学科	345
	計	345	1,380
法学部	法学科	330	1,320

	計	330	1,320
経営学部	経営学科	335	1,340
	計	335	1,340
知能情報学部	知能情報学科	120	480
	計	120	480
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	170	680
	計	170	680
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	45	180
	計	45	180
グローバル教養学環		25	100
合計		1,940	7,760

第5条 大学院に関する規程は、別に定める。

### 第3章 授業科目及び履修方法

第6条 本大学の授業科目を、基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目及び専門教育科目に分ける。

- 基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。
- 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(1)のとおりとする。
- マネジメント創造学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(3)のとおりとする。
- フロンティアサイエンス学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(4)のとおりとする。
- グローバル教養学環における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(5)のとおりとする。
- 卒業に必要な単位数は、別表第2の(1)、別表第2の(3)、別表第2の(4)及び別表第2の(5)のとおりとする。

第6条の2 特定の分野又は課題に関する授業科目を体系的に編成する副専攻を置くことができる。

2 副専攻に関する規程については、別に定める。

第7条 本大学の修業年限は、4年とする。

第8条 中学校及び高等学校の教育職員免許状を得るために必要な教科及び教職に関する科目（教科に関する専門的事項の科目を除く。）の授業科目及び単位数は、別表第3のとおりとする。

第9条 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

2 本大学において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学部	学科	免許教科	免許状の種類
文学部	日本語日本文学科	国語	中学校教諭一種免許状
			高等学校教諭一種免許状
	英語英米文学科	英語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
社会学科		社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状

	計	330	1,320
経営学部	経営学科	345	1,380
	計	345	1,380
知能情報学部	知能情報学科	120	480
	計	120	480
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	170	680
	計	170	680
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	45	180
	計	45	180
グローバル教養学環		25	100
合計		1,940	7,760

第5条 大学院に関する規程は、別に定める。

### 第3章 授業科目及び履修方法

第6条 本大学の授業科目を、基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目及び専門教育科目に分ける。

- 基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。
- 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(1)のとおりとする。
- マネジメント創造学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(3)のとおりとする。
- フロンティアサイエンス学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(4)のとおりとする。
- グローバル教養学環における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(5)のとおりとする。
- 卒業に必要な単位数は、別表第2の(1)、別表第2の(3)、別表第2の(4)及び別表第2の(5)のとおりとする。

第6条の2 特定の分野又は課題に関する授業科目を体系的に編成する副専攻を置くことができる。

2 副専攻に関する規程については、別に定める。

第7条 本大学の修業年限は、4年とする。

第8条 中学校及び高等学校の教育職員免許状を得るために必要な教科及び教職に関する科目（教科に関する専門的事項の科目を除く。）の授業科目及び単位数は、別表第3のとおりとする。

第9条 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

2 本大学において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学部	学科	免許教科	免許状の種類
文学部	日本語日本文学科	国語	中学校教諭一種免許状
			高等学校教諭一種免許状
	英語英米文学科	英語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
社会学科		社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状

	人間科学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
	歴史文化学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科		
	生物学科		
	物質化学科 環境・エネルギー工学科		
経済学部	経済学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
法学部	法学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
経営学部	経営学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
		商業	
知能情報学部	知能情報学科	数学	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		情報	高等学校教諭一種免許状

第10条 図書館司書又は学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、別表第4の(1)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第10条の2 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、別表第4の(2)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第10条の3 公認心理師の受験資格を得るために大学において必要な科目を修めようとする者は、別表第4の(3)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもつて1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもつて1単位とする。
- (3) 一つの授業科目のなかで、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合の授業科目については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して定める時間の授業をもつて1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業実験等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第11条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

	人間科学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
	歴史文化学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
理工学部	物理学科		
	生物学科		
	機能分子化学科		
経済学部	経済学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
法学部	法学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
経営学部	経営学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
		商業	
知能情報学部	知能情報学科	数学	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		情報	高等学校教諭一種免許状

第10条 図書館司書又は学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、別表第4の(1)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第10条の2 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、別表第4の(2)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第10条の3 公認心理師の受験資格を得るために大学において必要な科目を修めようとする者は、別表第4の(3)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもつて1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもつて1単位とする。
- (3) 一つの授業科目のなかで、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合の授業科目については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して定める時間の授業をもつて1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業実験等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第11条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本大学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本大学は、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

第11条の3 学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

#### 第4章 試験及び学士の学位

第12条 学生は、学期の初めに履修を希望する授業科目を届け出て承認を得なければならない。

第12条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、60単位を限度として、本大学において修得した単位とみなすことができる。

3 第1項の規定に基づく外国留学（以下「留学」という。）に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第13条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。ただし、実験、実習、演習、体育の実技等は、平常の成績によることができる。

2 授業科目の成績の評価は、秀（AA）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の5種とし、その評点は、100点を満点として次のとおり定める。

秀	(AA)	90点以上	] 合格
優	(A)	80点以上90点未満	
良	(B)	70点以上80点未満	
可	(C)	60点以上70点未満	
不可	(D)	60点未満	

第14条 試験は、原則として学期末又は学年末に行う。

第15条 削除

第16条 4年以上在学して第6条に掲げられた所定の授業科目及び履修方法により卒業に必要な単位数を修得した者には、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

2 本大学に3年以上在学した学生が、別に定める規程に従い卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、第7条に規定する修業年限の特例扱いとして学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与することができる。

第16条の2 前条第1項の定めにかかわらず、卒業に必要な要件を満たした者が目標とする進路、資格等を獲得するために卒業を保留し、引き続き在学を希望した場合、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長は卒業の延期を許可することができる。

2 卒業の延期に関する事項については、別に定める。

第17条 本大学を卒業した者には、学部・学科及び学環に応じて、次のとおり学士の学位を授与する。

文学部	日本語日本文学科	学士（文学）
	英語英米文学科	学士（文学）
	社会学科	学士（社会学）
	人間科学科	学士（文学）
	歴史文化学科	学士（文学）
理工学部	<u>宇宙理学・量子物理工学科</u>	学士（理学）又は学士（理工学）

3 本大学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本大学は、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

第11条の3 学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

#### 第4章 試験及び学士の学位

第12条 学生は、学期の初めに履修を希望する授業科目を届け出て承認を得なければならない。

第12条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、60単位を限度として、本大学において修得した単位とみなすことができる。

3 第1項の規定に基づく外国留学（以下「留学」という。）に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第13条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。ただし、実験、実習、演習、体育の実技等は、平常の成績によることができる。

2 授業科目の成績の評価は、秀（AA）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の5種とし、その評点は、100点を満点として次のとおり定める。

秀	(AA)	90点以上	] 合格
優	(A)	80点以上90点未満	
良	(B)	70点以上80点未満	
可	(C)	60点以上70点未満	
不可	(D)	60点未満	

第14条 試験は、原則として学期末又は学年末に行う。

第15条 削除

第16条 4年以上在学して第6条に掲げられた所定の授業科目及び履修方法により卒業に必要な単位数を修得した者には、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

2 本大学に3年以上在学した学生が、別に定める規程に従い卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、第7条に規定する修業年限の特例扱いとして学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与することができる。

第16条の2 前条第1項の定めにかかわらず、卒業に必要な要件を満たした者が目標とする進路、資格等を獲得するために卒業を保留し、引き続き在学を希望した場合、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長は卒業の延期を許可することができる。

2 卒業の延期に関する事項については、別に定める。

第17条 本大学を卒業した者には、学部・学科及び学環に応じて、次のとおり学士の学位を授与する。

文学部	日本語日本文学科	学士（文学）
	英語英米文学科	学士（文学）
	社会学科	学士（社会学）
	人間科学科	学士（文学）
	歴史文化学科	学士（文学）
理工学部	<u>物理学科</u>	学士（理学）又は学士（理工学）

	生物学科	学士（理学）
	<u>物質化学科</u>	学士（理工学）
	<u>環境・エネルギー工学科</u>	<u>学士（理工学）</u>
経済学部	経済学科	学士（経済学）
法学部	法学科	学士（法学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
知能情報学部	知能情報学科	学士（知能情報学）
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	学士（マネジメント）
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	学士（理工学）
グローバル教養学環		学士（グローバル教養）

第5章 学年、学期及び休業日

第18条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

| 省略（現行どおり）

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和8年4月1日から施行する。

別表第1

ア 基礎共通科目

| 省略（現行どおり）

イ 外国語科目

		授業科目	単位数	備考	
基礎 外国 語	英語	Skill - based	College English Reading	1	
			College English Writing	1	
			College English Listening	1	
			College English Speaking	1	
		Content/ Project- based	College English Topics I	1	
		College English Topics II	1		
		College English Project I	1		
		College English Project II	1		
	ドイツ語	基礎ドイツ語 I	2		
		基礎ドイツ語 II	2		
フランス語	基礎フランス語 I	2			
	基礎フランス語 II	2			
中国語	基礎中国語 I	2			
	基礎中国語 II	2			
韓国語	基礎韓国語 I	2			
	基礎韓国語 II	2			
日本語	大学日本語入門 I	2			
	大学日本語入門 II	2			

	生物学科	学士（理学）
	<u>機能分子化学科</u>	学士（理工学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
法学部	法学科	学士（法学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
知能情報学部	知能情報学科	学士（知能情報学）
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	学士（マネジメント）
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	学士（理工学）
グローバル教養学環		学士（グローバル教養）

第5章 学年、学期及び休業日

第18条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

| 省略

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

別表第1

ア 基礎共通科目

| 省略

イ 外国語科目

		授業科目	単位数	備考
基礎 外国 語	Skill - based	College English Reading and Writing	2	
		College English Listening	1	
		College English Speaking	1	
	基礎ドイツ語 I	基礎ドイツ語 I	2	
		基礎ドイツ語 II	2	
	基礎フランス語 I	基礎フランス語 I	2	
		基礎フランス語 II	2	
	基礎中国語 I	基礎中国語 I	2	
		基礎中国語 II	2	
基礎韓国語 I	基礎韓国語 I	2		
	基礎韓国語 II	2		
大学日本語入門 I	大学日本語入門 I	2		
	大学日本語入門 II	2		

中級 外国語	英語	Skill - based	中級英語Speaking	4	
			中級英語Presentation	4	
			中級英語Listening	4	
			中級英語Reading	4	
			中級英語Writing	4	
			中級英語Pronunciation	2	
		Test Preparation	中級英語TOEIC	4	
		Content - based	中級英語Global Topics I	2	
			中級英語Global Topics II	2	
			中級英語Life Topics I	2	
	中級英語Life Topics II		2		
		中級英語Career English I	2		
		中級英語Career English II	2		
	ドイツ語	中級ドイツ語Ⅰ	4		
		中級ドイツ語Ⅱ	4		
		中級ドイツ語Ⅲ	4		
		中級ドイツ語Ⅳ	4		
	フランス語	中級フランス語Ⅰ	4		
		中級フランス語Ⅱ	4		
		中級フランス語Ⅲ	4		
		中級フランス語Ⅳ	4		
	中国語	中級中国語Ⅰ	4		
		中級中国語Ⅱ	4		
		中級中国語Ⅲ	4		
		中級中国語Ⅳ	4		
	韓国語	中級韓国語Ⅰ	4		
		中級韓国語Ⅱ	4		
		中級韓国語Ⅲ	4		
		中級韓国語Ⅳ	4		
	外国留学科目	外国留学科目Ⅰ	4		
		外国留学科目Ⅱ	4		
		外国留学科目Ⅲ	4		
		外国留学科目Ⅳ	4		
	日本語	大学日本語中級Ⅰ	4		
		大学日本語中級Ⅱ	4		
上級 外国語	英語	Test Preparation	上級英語TOEIC	4	
		Content - based	上級英語Global Topics I	2	
	上級英語Global Topics II		2		
	上級英語Life Topics I		2		
		上級英語Life Topics II	2		
	上級英語Career English I	2			

中級 外国語	英語	Skill - based	中級英語Speaking	4	
			中級英語Presentation	4	
			中級英語Listening	4	
			中級英語Reading	4	
			中級英語Writing	4	
			中級英語Pronunciation	2	
		Test Preparation	中級英語TOEIC	4	
		Content - based	中級英語Global Topics I	2	
			中級英語Global Topics II	2	
			中級英語Life Topics I	2	
	中級英語Life Topics II		2		
		中級英語Career English I	2		
		中級英語Career English II	2		
	ドイツ語	中級ドイツ語Ⅰ	4		
		中級ドイツ語Ⅱ	4		
		中級ドイツ語Ⅲ	4		
		中級ドイツ語Ⅳ	4		
	フランス語	中級フランス語Ⅰ	4		
		中級フランス語Ⅱ	4		
		中級フランス語Ⅲ	4		
		中級フランス語Ⅳ	4		
	中国語	中級中国語Ⅰ	4		
		中級中国語Ⅱ	4		
		中級中国語Ⅲ	4		
		中級中国語Ⅳ	4		
	韓国語	中級韓国語Ⅰ	4		
		中級韓国語Ⅱ	4		
		中級韓国語Ⅲ	4		
		中級韓国語Ⅳ	4		
	外国留学科目	外国留学科目Ⅰ	4		
		外国留学科目Ⅱ	4		
		外国留学科目Ⅲ	4		
		外国留学科目Ⅳ	4		
	日本語	大学日本語中級Ⅰ	4		
		大学日本語中級Ⅱ	4		
上級 外国語	英語	Test Preparation	上級英語TOEIC	4	
		Content - based	上級英語Global Topics I	2	
	上級英語Global Topics II		2		
	上級英語Life Topics I		2		
		上級英語Life Topics II	2		
	上級英語Career English I	2			

	上級英語Career English II	2	
ドイツ語	上級ドイツ語 I	4	
	上級ドイツ語 II	4	
フランス語	上級フランス語 I	4	
	上級フランス語 II	4	
中国語	上級中国語 I	4	
	上級中国語 II	4	
韓国語	上級韓国語 I	4	
	上級韓国語 II	4	
外国留学科目	上級外国留学科目 I	4	
	上級外国留学科目 II	4	
日本語	大学日本語上級 I	4	
	大学日本語上級 II	4	
海外語学講座・留学支援科目	海外語学講座 I	4	
	海外語学講座 II	4	
	海外語学講座 III	2	
	海外語学講座 IV	2	
	TOEFL I	2	
	TOEFL II	2	
	IELTS I	2	
	IELTS II	2	
	English Regions I	2	
	English Regions II	2	
	English Regions III	2	
	English Regions IV	2	
	German Studies I	2	
	German Studies II	2	
	German Studies III	2	
	German Studies IV	2	
	French Studies I	2	
	French Studies II	2	
	French Studies III	2	
	French Studies IV	2	
Chinese Studies I	2		
Chinese Studies II	2		
Chinese Studies III	2		
Chinese Studies IV	2		
Korean Studies I	2		
Korean Studies II	2		
Korean Studies III	2		
Korean Studies IV	2		
履修方法			
1 文学部、経済学部、法学部、経営学部及びグローバル教養学環の学生は、次に定めるとおり8単位を修得			

	上級英語Career English II	2	
	上級ドイツ語 I	4	
	上級ドイツ語 II	4	
	上級フランス語 I	4	
	上級フランス語 II	4	
	上級中国語 I	4	
	上級中国語 II	4	
	上級韓国語 I	4	
	上級韓国語 II	4	
	上級外国留学科目 I	4	
	上級外国留学科目 II	4	
	大学日本語上級 I	4	
	大学日本語上級 II	4	
海外語学講座・留学支援科目	海外語学講座 I	4	
	海外語学講座 II	4	
	海外語学講座 III	2	
	海外語学講座 IV	2	
	TOEFL I	2	
	TOEFL II	2	
	IELTS I	2	
	IELTS II	2	
	English Regions I	2	
	English Regions II	2	
	English Regions III	2	
	English Regions IV	2	
	German Studies I	2	
	German Studies II	2	
	German Studies III	2	
	German Studies IV	2	
	French Studies I	2	
	French Studies II	2	
	French Studies III	2	
	French Studies IV	2	
Chinese Studies I	2		
Chinese Studies II	2		
Chinese Studies III	2		
Chinese Studies IV	2		
Korean Studies I	2		
Korean Studies II	2		
Korean Studies III	2		
Korean Studies IV	2		
履修方法			
1 文学部、 <u>理工学部</u> 、経済学部、法学部、経営学部、 <u>知能情報学部</u> 及びグローバル教養学環の学生は、次に			

しなければならない。

- (1) 基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
- (2) 基礎外国語のうち、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語について1外国語4単位を修得しなければならない。
- (3) 上記(2)にかかわらず、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位及び日本語4単位を修得しなければならない。

2 理工学部及び知能情報学部の学生は、次に定めるとおり8単位を修得しなければならない。

- (1) 基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
- (2) 基礎外国語のうち、英語 (Content/Project-based)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語について1外国語4単位を修得しなければならない。
- (3) 上記(2)にかかわらず、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位及び日本語4単位を修得しなければならない。

3 フロンティアサイエンス学部の学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。

4 外国語科目のうち、日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

ウ 保健体育科目

| 省略(現行どおり)

理工学部

宇宙理学・量子物理工学科 宇宙理学コース

授業科目	単位数	備考
<u>(必修科目)</u>		
基礎物理学実験	1	27単位必修
物理学実験 1	2	
物理学実験 2	2	
物理学実験 3	2	
力学Ⅰ	2	
力学Ⅱ	2	
電磁気学Ⅰ	2	
電磁気学Ⅱ	2	
量子論入門	2	
天文学入門	2	
物理学卒業研究	8	
<u>(選択必修科目A)</u>		
トピカル・フィジクス	2	20単位以上選択必修
力学基礎	2	
電磁気学基礎	2	
振動・波動	2	
微分積分学Ⅰ	2	
微分積分学Ⅱ	2	
線形代数学Ⅰ	2	

定めるとおり8単位を修得しなければならない。

- (1) College English4単位を修得しなければならない。
- (2) 基礎ドイツ語、基礎フランス語、基礎中国語及び基礎韓国語について1外国語4単位を修得しなければならない。
- (3) 上記(2)にかかわらず、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生は、College English4単位及び大学日本語入門4単位を修得しなければならない。

2 フロンティアサイエンス学部の学生は、College English4単位を修得しなければならない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

ウ 保健体育科目

| 省略

理工学部

物理学科

授業科目	単位数	備考
<u>物理科目 (コース共通必修科目)</u>		
必修 基礎物理学実験	1	13単位必修
ラボラトリー・フィジクスⅠ	2	
ラボラトリー・フィジクスⅡ	2	
力学Ⅰ	2	
力学Ⅱ	2	
電磁気学Ⅰ	2	
電磁気学Ⅱ	2	
<u>物理科目 (物理学コース必修科目)</u>		
統計力学Ⅰ	2	物理工学コース・宇宙理学コース履修者は16単位必修
量子力学Ⅰ	2	
物理学実験Ⅰ	2	
物理学実験Ⅱ	2	
物理学卒業研究	8	
<u>(選択必修A)</u>		
基礎物理学Ⅰ	2	20単位以上選択必修
基礎物理学Ⅱ	2	
微分積分学Ⅰ	2	
微分積分学Ⅱ	2	

線形代数学Ⅱ	2	
プログラミング・AIのためのIT入門	2	
ベクトル解析	2	
複素関数論	2	
解析力学	2	
電磁気学Ⅲ	2	
熱・統計力学	2	
プログラミング・AI実習Ⅰ	2	
<u>(選択必修科目B)</u>		
統計力学Ⅰ	2	8単位以上選択必修
統計力学Ⅱ	2	
量子力学Ⅰ	2	
量子力学Ⅱ	2	
相対性理論	2	
電気・電子回路	2	
特殊関数論	2	
物性物理学Ⅰ	2	
物性物理学Ⅱ	2	
流体力学Ⅰ	2	
流体力学Ⅱ	2	
プログラミング・AI実習Ⅱ	2	
英語で学ぶ物理学	2	
科学英語	2	
<u>(コース別科目C-1)</u>		
素粒子物理学	2	8単位以上選択必修
原子核物理学	2	
天文学概論	2	
宇宙物理学	2	
量子線計測学	2	
宇宙理学リサーチ	4	
<u>(少人数・参加型科目)</u>		
数学演習Ⅰa	1	
数学演習Ⅰb	1	
力学・電磁気学演習Ⅰ	1	
力学・電磁気学演習Ⅱ	1	
ワークショップⅡa	1	
ワークショップⅡb	1	
ワークショップⅢa	1	
ワークショップⅢb	1	
ワークショップⅣa	1	

線形代数学Ⅰ	2	
線形代数学Ⅱ	2	
コンピュータ入門	2	
物理数学Ⅰ	2	
物理数学Ⅱ	2	
原子物理学	2	
解析力学	2	
電磁気学Ⅲ	2	
熱力学	2	
相対性理論	2	
コンピュータ実習Ⅰ	2	
コンピュータ実習Ⅱ	2	
電気・電子回路	2	
<u>(選択必修B)</u>		
統計力学Ⅱ	2	物理工学コース・宇宙理学コース 履修者は8単位以上選択必修
量子力学Ⅱ	2	
量子力学Ⅲ	2	
数理物理学	2	
物性物理学Ⅰ	2	
物性物理学Ⅱ	2	
流体力学Ⅰ	2	
流体力学Ⅱ	2	
情報通信科学	2	
<u>(選択必修C1)</u>		
素粒子物理学	2	宇宙理学コース履修者は8単位以上 選択必修
原子核物理学	2	
天文学概論	2	
宇宙物理学	2	
放射線計測学	2	
宇宙理学リサーチ	4	
<u>(選択必修C2)</u>		
電子物性物理学	2	物理工学コース履修者は8単位以上 選択必修
光エレクトロニクス	2	
量子エレクトロニクス	2	
光物性物理学	2	
半導体デバイス	2	
物理工学リサーチ	4	
<u>(少人数・参加型科目)</u>		



卒業必要単位数

1 理工学部宇宙理学・量子物理工学科宇宙理学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

5 宇宙理学コースの卒業要件を充足した者には「学士(理学)」を授与する。

博物館資料論	2	情報・メディア論は、文理融合コース履修者に限り、文理融合科目の選択科目として卒業必要単位数に充てることができる。
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館教育論	2	
博物館情報・メディア論	2	
博物館実習Ⅰ	1	
博物館実習Ⅱ	1	
博物館実習Ⅲ	1	

卒業必要単位数

1 理工学部物理学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 宇宙理学コース、物理工学コース、文理融合コースの必修科目、選択必修科目の卒業必要単位数については、次の①～③に従うものとする。

① 宇宙理学コースを選択したものについては、コース共通必修科目13単位、物理学コース必修科目16単位、選択必修Aから20単位以上、選択必修Bから8単位以上、選択必修C1から8単位以上を修得するものとする。

② 物理工学コースを選択したものについては、コース共通必修科目13単位、物理学コース必修科目16単位、選択必修Aから20単位以上、選択必修Bから8単位以上、選択必修C2から8単位以上を修得するものとする。

③ 文理融合コースを選択したものについては、コース共通必修科目13単位、文理融合コース必修科目12単位、選択必修Aから20単位以上、物理科目及び文理融合科目の選択科目から55単位以上(選択必修Aから20単位以上を含む。)を修得するものとする。

3 中級英語、外国留学科目Ⅰ～Ⅳ、English RegionsⅢ・Ⅳ、海外語学講座Ⅰ・Ⅳ、エリアスタディーズⅠ～Ⅹ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ、海外ボランティアⅠ・Ⅱについては、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

4 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

5 理工学部共通・関連科目のキャリア科目については、専門教育科目として2単位を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

6 キャリア創生共通科目のうち、「データサイエンス基礎」を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修または選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

7 文理融合コースを選択したものについては、キャリア創生共通科目(エリアスタディーズⅠ～Ⅹ、海外ボランティアⅠ・Ⅱ、データサイエンス基礎を除く。)については、専門教育科目として22単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

8 文理融合コースを選択したものについては、関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目は、専門教育科目として16単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修または選択必修のい

れの単位数にも充てることができない。

宇宙理学・量子物理工学科 量子物理工学コース

授業科目	単位数	備考	
<u>(必修科目)</u>			
基礎物理学実験	1	27単位必修	
物理学実験 1	2		
物理学実験 2	2		
物理学実験 3	2		
力学 I	2		
力学 II	2		
電磁気学 I	2		
電磁気学 II	2		
量子論入門	2		
天文学入門	2		
物理学卒業研究	8		
<u>(選択必修科目A)</u>			
トピカル・フィジックス	2		20単位以上選択必修
力学基礎	2		
電磁気学基礎	2		
振動・波動	2		
微分積分学 I	2		
微分積分学 II	2		
線形代数学 I	2		
線形代数学 II	2		
プログラミング・AIのためのIT入門	2		
ベクトル解析	2		
複素関数論	2		
解析力学	2		
電磁気学 III	2		
熱・統計力学	2		
プログラミング・AI実習 I	2		
<u>(選択必修科目B)</u>			
統計力学 I	2	8単位以上選択必修	
統計力学 II	2		
量子力学 I	2		
量子力学 II	2		
相対性理論	2		
電気・電子回路	2		
特殊関数論	2		

物性物理学 I	2	
物性物理学 II	2	
流体力学 I	2	
流体力学 II	2	
プログラミング・AI実習 II	2	
英語で学ぶ物理学	2	
科学英語	2	
<u>(コース別科目C-2)</u>		
電子物性工学	2	8単位以上選択必修
光・量子エレクトロニクス	2	
量子情報工学	2	
光物性工学	2	
半導体デバイス	2	
量子物理工学リサーチ	4	
<u>(少人数・参加型科目)</u>		
数学演習 I a	1	
数学演習 I b	1	
力学・電磁気学演習 I	1	
力学・電磁気学演習 II	1	
ワークショップ II a	1	
ワークショップ II b	1	
ワークショップ III a	1	
ワークショップ III b	1	
ワークショップ IV a	1	
ワークショップ IV b	1	
天体観測ワークショップ	2	
プログラミング・AI実践	3	
<u>(選択科目)</u>		
素粒子物理学	2	
原子核物理学	2	
天文学概論	2	
宇宙物理学	2	
量子線計測学	2	
確率統計学 I	2	
確率統計学 II	2	
解析学 I	2	
解析学 II	2	
コンピュータサイエンス	2	
地学通論 I	2	
地学通論 II	2	
化学通論 I	2	

化学通論Ⅱ	2
生物学通論Ⅰ	2
生物学通論Ⅱ	2
地学実験	3
基礎化学実験	3
基礎生物学実験	3
博物館資料論	2
博物館情報・メディア論	2

卒業必要単位数

1 理工学部宇宙理学・量子物理工学科量子物理工学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

5 量子物理工学コースの卒業要件を充足した者には「学士(理工学)」を授与する。

宇宙理学・量子物理工学科 文理融合コース

授業科目	単位数	備考	
(必修科目)			
基礎物理学実験	1	27単位必修	
物理学実験1	2		
物理学実験2	2		
物理学実験3	2		
力学Ⅰ	2		
力学Ⅱ	2		
電磁気学Ⅰ	2		
電磁気学Ⅱ	2		
量子論入門	2		
天文学入門	2		
文理融合総合研究	8		
(選択必修科目A)			

<u>トピカル・フィジックス</u>	<u>2</u>	<u>20単位以上選択必修</u>
<u>力学基礎</u>	<u>2</u>	
<u>電磁気学基礎</u>	<u>2</u>	
<u>振動・波動</u>	<u>2</u>	
<u>微分積分学Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>微分積分学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>線形代数学Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>線形代数学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>プログラミング・AIのためのIT入門</u>	<u>2</u>	
<u>ベクトル解析</u>	<u>2</u>	
<u>複素関数論</u>	<u>2</u>	
<u>解析力学</u>	<u>2</u>	
<u>電磁気学Ⅲ</u>	<u>2</u>	
<u>熱・統計力学</u>	<u>2</u>	
<u>プログラミング・AI実習Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>(選択必修科目B)</u>		
<u>統計力学Ⅰ</u>	<u>2</u>	<u>8単位以上選択必修</u>
<u>統計力学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>量子力学Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>量子力学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>相対性理論</u>	<u>2</u>	
<u>電気・電子回路</u>	<u>2</u>	
<u>特殊関数論</u>	<u>2</u>	
<u>物性物理学Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>物性物理学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>流体力学Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>流体力学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>プログラミング・AI実習Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>英語で学ぶ物理学</u>	<u>2</u>	
<u>科学英語</u>	<u>2</u>	
<u>確率統計学Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>確率統計学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>解析学Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>解析学Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>コンピュータサイエンス</u>	<u>2</u>	
<u>地学通論Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>地学通論Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>化学通論Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>化学通論Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>生物学通論Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>生物学通論Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>地学実験</u>	<u>3</u>	

基礎化学実験	3	
基礎生物学実験	3	
素粒子物理学	2	
原子核物理学	2	
天文学概論	2	
宇宙物理学	2	
量子線計測学	2	
電子物性工学	2	
光・量子エレクトロニクス	2	
量子情報工学	2	
光物性工学	2	
半導体デバイス	2	
博物館資料論	2	
博物館情報・メディア論	2	
<u>(コース別科目C-3)</u>		
共通応用演習Ⅰ	2	8単位必修
共通応用演習Ⅱ	2	
文理融合リサーチ	4	
<u>(少人数・参加型科目)</u>		
数学演習Ⅰa	1	
数学演習Ⅰb	1	
力学・電磁気学演習Ⅰ	1	
力学・電磁気学演習Ⅱ	1	
ワークショップⅡa	1	
ワークショップⅡb	1	
ワークショップⅢa	1	
ワークショップⅢb	1	
ワークショップⅣa	1	
ワークショップⅣb	1	
天体観測ワークショップ	2	
プログラミング・AI実践	3	
卒業必要単位数		
1 理工学部宇宙物理学・量子物理工学科文理融合コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。		
基礎共通科目		16単位
外国語科目		8単位
保健体育科目		2単位
専門教育科目		102単位以上
計		128単位以上
2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティア		

I・IIについては、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門I・II、大学日本語中級I・II、大学日本語上級I・II)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

5 キャリア創生共通科目(エリアスタディーズI～X、海外ボランティアI・II、ベーシック・キャリアデザイン、データサイエンス基礎を除く)を、専門教育科目として22単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

6 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目を、専門教育科目として16単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

7 文理融合コースの卒業要件を充足した者には「学士(理学)」を授与する。

生物学科

省略(現行どおり)

物質化学科

授業科目	単位数	備考
<u>(実験研究科目)</u>		
物質化学入門	2	17単位必修
基礎化学実験	3	
物質化学実験A	3	
物質化学実験B	3	
物質化学実験C	3	
物質化学講座	1	
化学研究における安全と倫理	2	
<u>(基礎科目)</u>		
化学基礎A	2	14単位必修
化学基礎B	2	
分析化学基礎	2	
物理化学基礎	2	
有機化学基礎	2	
無機化学基礎	2	
材料化学基礎	2	
<u>(数理科目)</u>		
化学数学基礎A	2	10単位以上選択必修
化学数学基礎B	2	
化学数学基礎C	2	
化学数学基礎D	2	
化学数学A	2	
化学数学B	2	

生物学科

省略

機能分子化学科

授業科目	単位数	備考
<u>(必修)</u>		
機能分子化学実験入門	1	15単位必修
基礎化学実験	3	
機能分子化学実験A	3	
機能分子化学実験B	3	
機能分子化学実験C	3	
化学研究における安全と倫理	2	
<u>(選択必修科目A)</u>		
化学基礎A	2	10単位以上選択必修
化学基礎B	2	
分析化学基礎	2	
物理化学基礎	2	
有機化学基礎	2	
無機化学基礎	2	
<u>(選択必修科目B)</u>		
化学数学基礎A	2	14単位以上選択必修
化学数学基礎B	2	
化学数学基礎C	2	
化学数学基礎D	2	
化学数学A	2	
化学数学B	2	
化学のための物理A	2	
化学のための物理B	2	

化学のための物理A	2		化学英語	2	
化学のための物理B	2		(選択必修科目C)		
(基幹科目)			分析化学A	2	18単位以上選択必修
分析化学A	2	18単位以上選択必修	分析化学B	2	
分析化学B	2		物理化学A	2	
物理化学A	2		物理化学B	2	
物理化学B	2		有機化学A	2	
有機化学A	2		有機化学B	2	
有機化学B	2		無機化学A	2	
無機化学A	2		無機化学B	2	
無機化学B	2		高分子化学A	2	
高分子合成化学	2		高分子化学B	2	
量子化学	2		量子化学	2	
材料化学	2				
錯体化学	2				
(卒業科目)				(選択必修科目D)	
物質化学卒業研究	12	12単位又は6単位選択必修	機能分子化学卒業研究	12	6単位以上選択必修
物質化学卒業演習および実習	6		機能分子化学卒業ゼミナール	6	
(応用科目)			(選択科目A)		
有機材料工学	2		材料化学	2	
固体化学	2		機能分子化学研究ゼミ	1	
有機構造化学	2		無機材料化学	2	
材料電気化学	2		有機構造化学	2	
反応速度論	2		物理化学要論1	2	
応用分析化学	2		物理化学要論2	2	
量子論	2		応用分析化学	2	
合成有機化学	2		応用物理化学	2	
化学工学	2		有機合成化学	2	
キャリアデザイン	1		化学工学	2	
技術とビジネス	2		キャリアデザイン	1	
光材料工学	2		データ解析論	2	
応用有機化学	2		錯体化学	2	
物質化学特別講義 1	1		有機構造解析論	2	
物質化学特別講義 2	1		応用有機化学	2	
物質化学特別講義 3	1		化学コンピュータ演習	1	
物質化学特別講義 4	1		機能分子化学特別講義1	1	
(自然科学・情報科目)			機能分子化学特別講義2	1	
生物学通論 I	2		(選択科目B)		12単位を上限として卒業必要単位数に充てることできる。
生物学通論 II	2		生物学通論 I	2	
地学通論 I	2		生物学通論 II	2	
地学通論 II	2		地学通論 I	2	
			地学通論 II	2	

地学通論Ⅱ	2		物理学通論Ⅰ	2	
物理学通論Ⅰ	2		物理学通論Ⅱ	2	
物理学通論Ⅱ	2		IT基礎	2	
IT基礎	2		IT応用	2	
IT応用	2		基礎生物学実験	3	
情報通信テクノロジーⅠ	2		ラボラトリー・フィジックス	3	
統計基礎	2		地学実験	3	
データサイエンス基礎	2		(キャリア系科目)		12単位を上限として卒業必要単位数に充てることができる。
統計活用情報分析Ⅰ	2		情報通信テクノロジーⅠ	2	
統計活用情報分析Ⅱ	2		情報通信テクノロジーⅡ	2	
基礎生物学実験	3		統計基礎	2	
ラボラトリー・フィジックス	3		データサイエンス基礎	2	
地学実験	3		地域ファシリテイト	2	
(キャリア系科目)			技術とビジネス	2	
実践ボランティアⅠ	1		入門マネジメント	2	
実践ボランティアⅡ	1		実践マネジメント	2	
情報通信テクノロジーⅡ	2		入門ビジネス会計	2	
地域プロジェクトⅠ	2		実践ビジネス会計	2	
地域プロジェクトⅡ	2		入門商業簿記Ⅰ	2	
地域ファシリテイト	2		入門商業簿記Ⅱ	2	
入門マネジメント	2		ビジネスを支える法の世界	2	
入門ビジネス会計	2		入門ビジネス法務	2	
入門商業簿記Ⅰ	2		実践ビジネス法務	2	
入門商業簿記Ⅱ	2		知的財産とイノベーションⅠ	2	
ビジネスを支える法の世界	2		知的財産とイノベーションⅡ	2	
入門ビジネス法務	2		(中級英語科目)		8単位を上限として卒業必要単位数に充てることができる。
知的財産とイノベーションⅠ	2		中級英語Speaking	4	
知的財産とイノベーションⅡ	2		中級英語Presentation	4	
基本情報技術	2		中級英語Listening	4	
ICTセキュリティ	2		中級英語Reading	4	
実践マネジメント	2		中級英語Writing	4	
実践ビジネス会計	2		中級英語Pronunciation	2	
実践ビジネス法務	2		中級英語TOEIC	4	
起業・アントレプレナーシップを学ぶ	2				
卒業必要単位数			卒業必要単位数		
1 理工学部物質化学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。			1 理工学部機能分子化学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。		
基礎共通科目	16単位		基礎共通科目	16単位	
外国語科目	8単位		外国語科目	8単位	
保健体育科目	2単位		保健体育科目	2単位	
専門教育科目	102単位以上		専門教育科目	102単位以上	
計	128単位以上		計	128単位以上	
2 「中級英語」については8単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。			2 エリアスタディーズⅠ～Ⅹ及びEnglish RegionsⅢ・Ⅳについては2単位を上限とし、専門教育科目とし		

ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

3 エリアスタディーズⅠ～Ⅹ及びEnglish RegionsⅢ・Ⅳについては2単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

環境・エネルギー工学科

	授業科目	単位数	備考		
必修 科目	環境・エネルギー工学入門	1	26単位必修		
	ラボラトリー・フィジックス	3			
	科学実験基礎	1			
	ラボラトリー・ケミストリー	3			
	環境・エネルギー工学実験 1	3			
	環境・エネルギー工学卒業研究	12			
	研究における安全と倫理	1			
	工学英語	2			
	選択 必修 科目A	(専門実験科目) 環境・エネルギー工学実験 2 環境・エネルギー工学実験 3		4 4	4単位以上選択必修
選択 必修 科目B	(基礎科目) 化学 1 化学 2 有機化学基礎 基礎科学演習 1 基礎科学演習 2 力学基礎 振動・波動 電磁気学基礎 地球科学 1 地球科学 2 天文学入門 工学のための数学 1 工学のための数学 2	2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	20単位以上選択必修		
	選択 必修 科目C	(専門基礎科目) 工学のための数学演習 1 工学のための数学演習 2 工学のための応用数学 1 工学のための応用数学 2 工学のためのIT 電磁気学 I		1 1 2 2 1 2	21単位以上選択必修

て卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

3 実践ボランティアⅠ・Ⅱ及び地域プロジェクトⅠ・Ⅱについては4単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

	電磁気学Ⅱ	2	
	分析化学A	2	
	熱力学基礎	2	
	物理化学A	2	
	物理化学B	2	
	有機化学A	2	
	有機化学B	2	
	無機化学A	2	
	無機化学B	2	
	量子化学	2	
	高分子合成化学	2	
選択 必修 科目D	(基幹専門科目) 環境・エネルギー工学キャリアデザイン 環境・エネルギー工学基礎 固体科学入門 環境科学 環境材料工学	1 1 2 2 2	6単位以上選択必修
選択 科目A	(専門科目) 合成有機化学 反応速度論 材料電気化学 量子論 コンピュータ材料科学 電気・電子工学 エネルギー材料工学 有機材料工学 光材料工学 電子材料工学 知的財産論 環境・エネルギー工学特別演習 1 環境・エネルギー工学特別演習 2 環境・エネルギー工学特別演習 3 環境・エネルギー工学特別講義 1 環境・エネルギー工学特別講義 2 環境・エネルギー工学特別講義 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 1 1 1 1	
選択 科目B	(関連科目) 生物学通論Ⅰ 生物学通論Ⅱ IT基礎 IT応用 基礎生物学実験	2 2 2 2 3	12単位を上限として卒業必要単位数に充てることができる。

地学実験

3

卒業必要単位数

1 理工学部環境・エネルギー工学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、及び「English Regions Ⅲ・Ⅳ」については10単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

3 キャリア創生共通科目のうち、「実践ボランティアⅠ・Ⅱ」及び「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」については4単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

4 キャリア創生共通科目のうち、「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

共通・関連科目

授業科目	単位数	備考
地学実験	3	
キャリア ア科目	2	卒業必要単位数に充てることができない。 (ただし、物理学科を除く。)

経済学部

経済学科

| 省略 (現行どおり)

別表第7の(2)

実験費

(単位 円)

「ラボラトリー・フィジックス」	「基礎化学実験」	
「基礎生物学実験」		
1科目		20,000
2科目		35,000
3科目		50,000
「基礎物理学実験」		15,000
「物理学実験1」		20,000
「物理学実験2」		20,000
「物理学実験3」		40,000
「生物学専門実験及び演習Ⅰ」		15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅱ」		15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅲ」		15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅳ」		15,000

経済学部

経済学科

| 省略

別表第7の(2)

実験費

(単位 円)

「ラボラトリー・フィジックス」	「基礎化学実験」	
「基礎生物学実験」		
1科目		20,000
2科目		35,000
3科目		50,000
「基礎物理学実験」		15,000
「ラボラトリー・フィジックスⅠ」		15,000
「ラボラトリー・フィジックスⅡ」		15,000
「物理学実験Ⅰ」		30,000
「物理学実験Ⅱ」		30,000
「生物学専門実験及び演習Ⅰ」		15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅱ」		15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅲ」		15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅳ」		15,000
「機能分子化学実験入門」		10,000



○甲南大学理工学部教授会規程

昭和32年7月2日

大学会議制定

昭和32年5月30日

理学部教授会議決

改正 昭和44年6月26日

昭和52年6月23日

昭和62年7月9日

平成13年2月22日

平成19年2月15日

平成25年5月23日

平成27年2月26日

平成27年4月1日

学長決定

(目的)

第1条 この規程は、甲南大学学則に基づき、理工学部教授会（以下「教授会」という。）の構成、権限及び運営についての必要な事項を定めることを目的とする。

(構成)

第2条 教授会は、理工学部（以下「学部」という。）所属の専任の教授、准教授、講師及び助教で構成する。

(審議事項等)

第3条 教授会は、学部に関する次の事項について学長が決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び学位の授与に関する事項
- (2) 教育研究に関して教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

2 教授会は、前項に定めるもののほか、学部の教育研究に関する次の事項を審議し、意見を述べることができる。

- (1) 教員の人事（採用、昇任、身分変更及び委嘱）に関する事項
- (2) 学生の学籍並びに学生の賞罰に関する事項
- (3) 学部長が必要と認めた事項及び3名以上の専任教員が提案する事項
- (4) その他教育研究に関する事項

(招集及び開催)

第4条 学部長は、教授会を招集し、議長となる。

- 2 学部長に事故があるときは、学部選出の大学会議員のうち年長者がこれに代わる。
- 3 教授会は、学部長が必要と認めたとき、又は3名以上の構成員から請求のあつたときに開催する。

(成立要件等)

第5条 教授会は、構成員の5分の3以上の出席をもつて成立する。

- 2 前項の構成員の数には、国内研究員、在外研究員及び休職、育児休業、介護休業又は療養休業中の者の数を含めない。
- 3 学部長は、教授会構成員に直接の利害関係のある事項について審議し議決するときは、当該構成員の退席を求めることができる。
- 4 学部長は、必要に応じ教授会の承認を得て、構成員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(議決等)

第6条 学部長が必要と認めた事項については、審議を経て議決することができる。

- 2 議決が必要な場合は、出席者の過半数をもつて行う。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 専任教員の人事に関する事項は、前項の規定にかかわらず、出席者の無記名投票により、その3分の2以上の多数で議決する。
- 4 教員の人事手続に関する事項は、別に定める。

(議事録)

第7条 学部長は、教授会の議事を記録しなければならない。

- 2 学部長は前項の記録を理工学部・知能情報学部事務室に備え、教授会の構成員から閲覧の請求があれば開示しなければならない。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会構成員の3分の2以上の賛成を得て学部長が学長に提案し、学長は、大学会議の審議を経て、これを決定する。

附 則

この規程は、昭和32年7月2日から施行する。

附 則

この規程は、昭和44年6月26日から施行する。

附 則

この規程は、昭和52年6月23日から施行する。

附 則

この規程は、昭和62年7月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。また、理学部の理工学部への名称変更に伴い、本規程の名称を、平成13年4月1日から「理工学部教授会規程」とする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年5月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改廃は、平成27年4月1日から学長決定により行う。